

13. 仮 設 工

① 瀝青材散布.....	654
② バイブロハンマ工（継施工）	657
③ 軽量鋼矢板打設・引抜（バイブロハンマ）	671
④ 仮設電気.....	675
⑤ 運搬（伐開、除根、除草）	735
⑥ 地盤改良工（仮設道路基礎）	736
⑦ 現場内除雪工.....	738

13. 仮 設 工

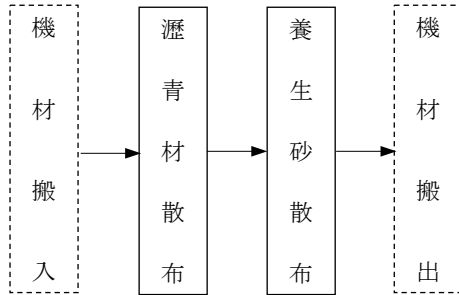
① 瀝青材散布

1. 適用範囲

本歩掛は、仮設道路及び道路造成途中で一時的に開放する際等の防塵対策として、瀝青材の散布を行う場合に適用する。

2. 施工概要

標準施工フローは、次図を標準とする。



- (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
2. 瀝青材の飛散防止対策を含む。

3. 機種の選定

瀝青材散布に使用する機械の機種・規格は、次表を標準とする。

表3. 1 機種の選定

作業種別	機 械 名	規 格
瀝 青 材 散 布	アスファルトエンジンスプレーヤ	車載式 2.6kW 25ℓ/min
	ディストリビュータ	自走式（トラック架装式） 2,000～3,000ℓ

(注) ディストリビュータは、幅員 3.0m 以上の場合に適用できる。

4. 散布能力

瀝青材散布作業の時間当り散布量は次表を標準とする。

表4. 1 時間当り散布量

(ℓ/h)

機 種	規 格	時間当り散布量	摘 要
アスファルトエンジンスプレーヤ	車載式 2.6kW 25ℓ/min	143	
ディストリビュータ	自走式（トラック架装式） 2,000～3,000ℓ	661	

瀝青材散布作業の100m²当り散布量は、次式により算定する。

100m²当り散布量 (ℓ)

=100m²当り設計散布量×(1+K) ……(式4. 1)

K：補正係数（表4. 2）

表4. 2 補正係数 (K)

補 正 係 数	0.06
---------	------

5. 作業歩掛

5-1 瀝青材・養生砂散布歩掛

瀝青材・養生砂散布の作業歩掛は、次表を標準とする。

表 5. 1 瀝青材・養生砂散布の作業歩掛 (人/100m²)

施 工 機 械	職 種	作 業 歩 掛
アスファルトエンジンスプレーヤ	世 話 役	0.17
	特殊作業員	0.17
	普通作業員	0.20
デ ィ ス ト リ ビ ュ ー タ	世 話 役	0.02
	特殊作業員	0.04
	普通作業員	0.07

(注) アスファルトエンジンスプレーヤは瀝青材の飛散防止対策に係る労務を含む。

5-2 散布機械の運転日数

散布機械の 100m²当り運転日数は、次式とする。

100m²当り運転日数

=100m²当り設計散布量/時間当り散布量/1日当り運転時間……(式 5. 1)

時間当り散布量 表 4. 1

1日当り運転時間 表 5. 2

表 5. 2 日当り運転時間 (時間/日)

機 種	規 格	日当り運転時間
アスファルトエンジンスプレーヤ	車載式 2.6kW 25ℓ/min	5.5
デ ィ ス ト リ ビ ュ ー タ	自走式 (トラック架装式) 2,000～3,000ℓ	4.5

5-3 トラックの運転時間

ディストリビュータのベースとなるトラックの 100m²当り運転時間は、次式とする。

トラックの 100m²当り運転時間

=100m²当り設計散布量/ディストリビュータの時間当り散布量……(式 5. 2)

時間当り散布量 表 4. 1

6. 諸雑費

諸雑費は、養生砂の材料費であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた額を計上する。

表 6. 1 諸雑費率 (%)

機 械 名	諸雑費率
アスファルトエンジンスプレーヤ	7
デ ィ ス ト リ ビ ュ ー タ	30

7. 単価表

(1) 瀝青材散布工（アスファルトエンジン Spreyer）100m² 当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表 5. 1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
瀝 青 材		ℓ		式 4. 1
アスファルトエンジン Spreyer 運転		日		式 5. 1
諸 雑 費		式	1	表 6. 1
計				

(2) 瀝青材散布工（ディストリビュータ）100m² 当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表 5. 1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
瀝 青 材		ℓ		式 4. 1
ディストリビュータ 運転		日		式 5. 1
ト ラ ッ ク 損 料	4.0～4.5t 積	時間		式 5. 2
諸 雑 費		式	1	表 6. 1
計				

(3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
アスファルトエンジン Spreyer	車載式 2.6kW 25ℓ/min	機－1 2	燃料消費量→3.2 主 燃 料→ガソリン
ディストリビュータ	自走式（トラック架装式） 2,000～3,000ℓ	機－3 3	運転労務数量→1.00 燃料消費量→33
ト ラ ッ ク	4.0～4.5t 積	機－1 3	燃料消費量はディストリビュータに含む

② バイブロハンマエ（継施工）

1. 適用範囲

本歩掛は、電動式バイブロハンマ、油圧式可変超高周波型バイブロハンマ（以下「油圧式バイブロハンマ」という。）による鋼矢板・H形鋼の継施工を伴う打込み（ウォータージェット併用施工を含む。）の陸上施工に適用する。

なお、陸上施工とは、クレーンを陸上に設置して行う施工のことで、次の形態が該当する。

- ・クレーンの設置場所：陸上（栈橋上等を含む。）
- ・鋼矢板・H形鋼の施工場所：陸上部または水中部

また、継施工における施工方法は、次のとおりとする。

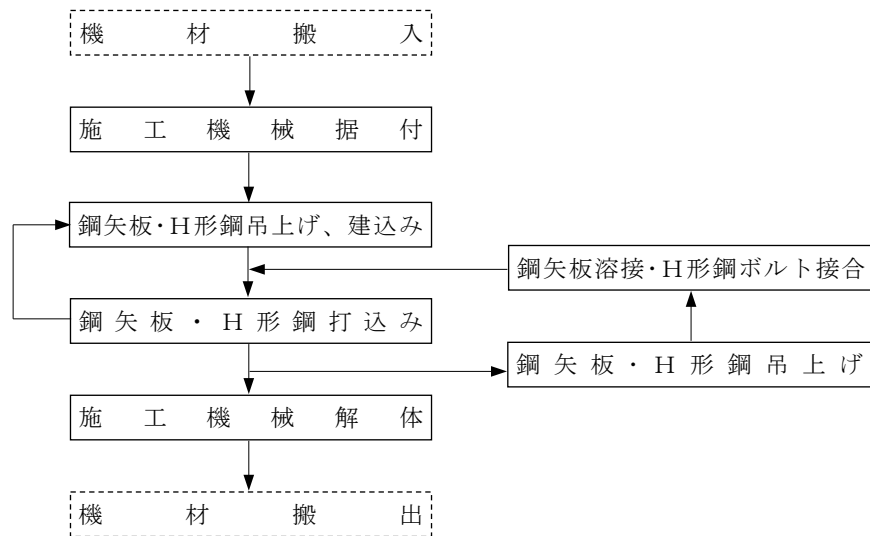
【鋼矢板】 先行する鋼矢板を打込み後、それに接続する鋼矢板を鉛直に建込んだ状態で継手部を溶接する方法。

【H形鋼】 先行するH形鋼を打込み後、それに接続するH形鋼を鉛直に建込んだ状態で継手部をボルトにより接合する方法。

2. 施工概要

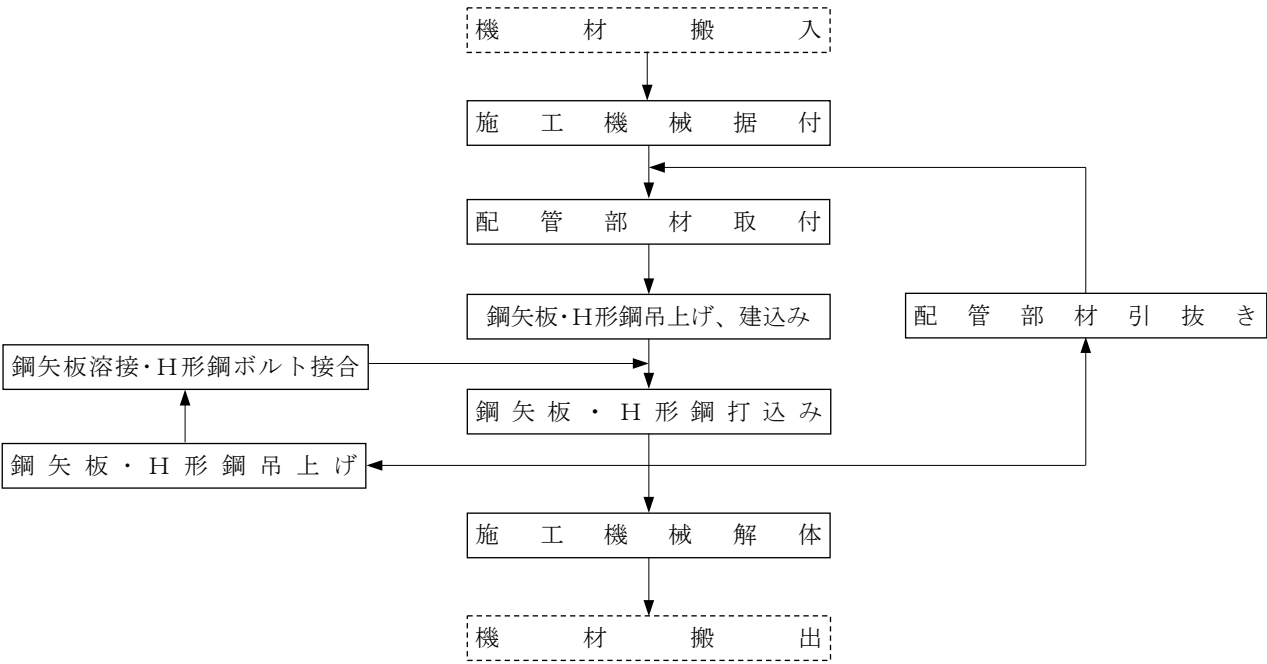
施工フローは、次図を標準とする。

図 2. 1 打込み（バイブロハンマ単独施工）



- （注） 1. 導材（ガイド）及び敷鉄板の施工を含む。
 2. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

図 2. 2 打込み（ウォータージェット併用施工）



(注) 1. 導材（ガイド）及び敷鉄板の施工を含む。
2. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 機種の選定

3-1 バイプロハンマの規格

鋼矢板・H形鋼の打込みに使用するバイプロハンマの規格は、次表を標準とする。
なお、ハット形鋼矢板の打込みに使用するバイプロハンマは、フランジ把持式の専用チャック装備を標準とする。

3-1-1 打込み作業

(1) 電動式バイプロハンマ

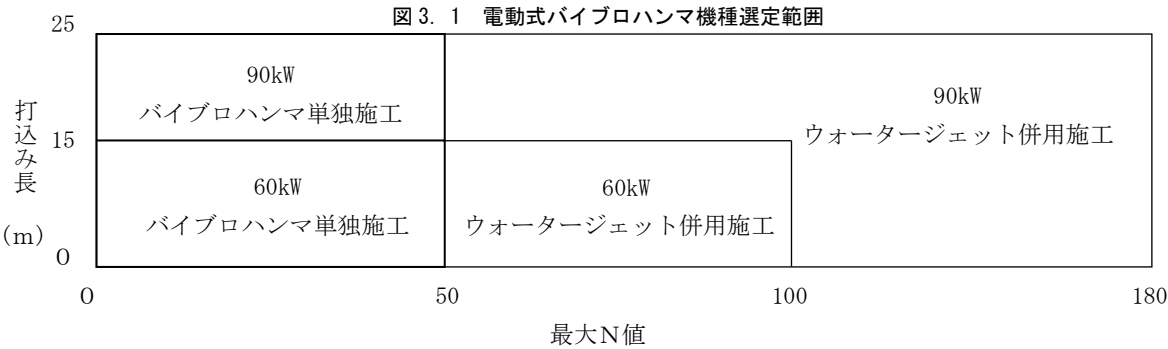


表 3. 1 機種選定

施工方法		バイプロハンマ単独施工	ウォータージェット併用施工	
最大N値		$N_{max} < 50$	$50 \leq N_{max} < 100$	$100 \leq N_{max} \leq 180$
打込み長	15m以下	電動式・普通型60kW 電動式・可変モーメント型 (ハット形鋼矢板用) 60kW		電動式・普通型90kW 電動式・可変モーメント型 (ハット形鋼矢板用) 90kW
	25m以下	電動式・普通型90kW 電動式・可変モーメント型 (ハット形鋼矢板用) 90kW		
杭打ち用ウォータージェット		—	エンジン式・排出ガス対策型 (第3次基準値) ポンプ14.7MPa 吐出量325ℓ/min×2台 (14.7MPa 325ℓ/min×1台) (注) 1	

- (注) 1. 杭打ち用ウォータージェット () 書きは $N_{max} < 50$ で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合に計上するものである。
2. 対象地盤の最大N値が 50 を超えるものについては、式 3. 1 により換算N値を求めたうえで適用する。

$$\text{換算N値} = \frac{1,500}{\text{落下 50 回当り貫入量 (cm)}} \quad \cdots \text{式 3. 1}$$

3. 打込み長は、地表面よりの鋼矢板及びH形鋼の打込み長さであり、鋼矢板長及びH形鋼長とは異なる。
4. 本歩掛の適用範囲は、表 3. 2 のとおりとするが、これにより難しい場合は別途考慮する。

表 3. 2 打込み長 (m)

鋼 矢 板 種 類		普 通				広 幅			広幅 (ハット形)	
鋼 矢 板 の 型 式		Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅳ型	Ⅴ型	Ⅱw型	Ⅲw型	Ⅳw型	10H型	25H型
打込み長 (m)	ハイドロハンマ 単 独 施 工	15以下	19以下	25以下	25以下	15以下	19以下	25以下	15以下	19以下
	ウォータージェット 併 用 施 工	15以下	19以下	25以下	25以下	15以下	19以下	25以下	19以下	25以下

H形鋼の型式		H250	H300	H350	H400
打込み長 (m)	パイプロハンマ単独施工	15以下	25以下	25以下	25以下
	ウォータージェット併用施工	19以下	25以下	25以下	25以下

(2) 油圧式パイプロハンマ

図 3. 2 油圧式パイプロハンマ機種選定範囲

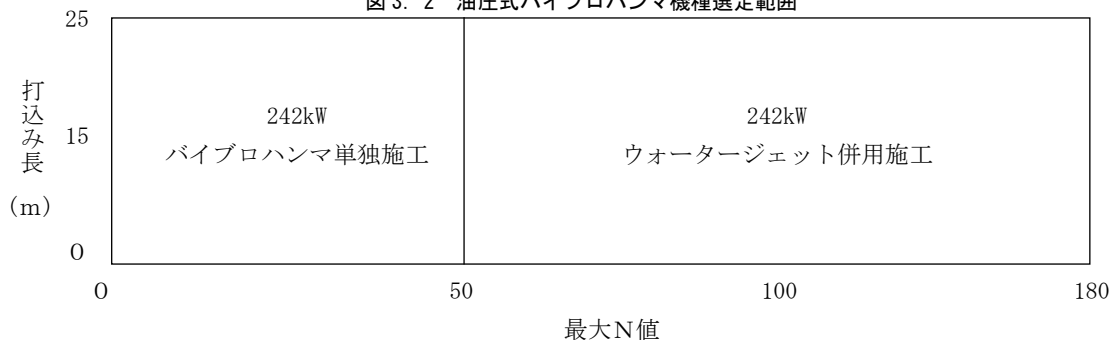


表 3. 3 機種選定

施工方法	パイプロハンマ単独施工		ウォータージェット併用施工	
最大N値	$N_{max} < 50$		$50 \leq N_{max} < 100$	$100 \leq N_{max} \leq 180$
打込み長25m以下	・油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第3次基準値)・最大起振力473kN・242kW ・油圧式・可変超高周波型(ハット形鋼矢板用)・排出ガス対策型(第3次基準値)・最大起振力473kN・242kW (注) 4			
杭打ち用 ウォータージェット	—		エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値) 14.7MPa 吐出量 325ℓ/min×2台 (14.7MPa 325ℓ/min×1台)(注) 1	

- (注) 1. 杭打ち用ウォータージェット () 書きは $N_{max} < 50$ で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合に計上するものである。
2. 対象地盤の最大N値が 50 を超えるものについては、式 3. 1 により換算N値を求めたうえで適用する。
3. 打込み長は、地表面よりの鋼矢板及びH形鋼の打込み長さであり、矢板長及びH形鋼長とは異なる。
4. 本歩掛の適用範囲は、表 3. 4 のとおりとするが、これにより難しい場合は別途考慮する。

表 3. 4 打込み長

(m)

鋼 矢 板 種 類		普 通				広 幅			広幅 (ハット形)	
鋼 矢 板 の 型 式		Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅳ型	V _L 型	Ⅱw型	Ⅲw型	Ⅳw型	10H型	25H型
打込み長 (m)	ハ ^イ ブ ^ロ ハンマ 単 独 施 工	15以下	19以下	25以下	25以下	15以下	19以下	25以下	15以下	19以下
	ウ ^ォ ーター ^シ ェット 併 用 施 工	15以下	19以下	25以下	25以下	15以下	19以下	25以下	19以下	25以下

H形鋼の型式		H250	H300	H350	H400
打込み長 (m)	パイプロハンマ単独施工	15以下	25以下	25以下	25以下
	ウ ^ォ ーター ^シ ェット併用施工	19以下	25以下	25以下	25以下

3-2 付属機械

3-2-1 パイプロハンマの付属機械の機種・規格は、次表を標準とするが現場条件によりこれにより難い場合は、別途考慮することができる。

表 3. 5 付属機械の機種・規格

パイプロハンマ種別	施工内容	機種	規格
電動式パイプロハンマ	打込み (WJ 併用施工を含む)	クローラクレーン	排出ガス対策型 (2014 年規制) 油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 50～55t 吊
油圧式パイプロハンマ	打込み (WJ 併用施工を含む)		

(注) 現場条件により濁水処理が必要な場合は、別途積算する。

4. 編成人員

4-1 鋼矢板、H形鋼の継施工に伴う打込み作業の編成人員は、次表を標準とする。

表 4. 1 継施工を伴う打込みの編成人員

(人)

項目	施工方法	世 話 役	と び 工	普通作業員	溶 接 工
鋼 矢 板 (溶接接合)	パイプロハンマ 単 独 施 工	1	2	1	2
	ウ ^ォ ーター ^シ ェット 併 用 施 工				
H 形 鋼 (ボルト接合)	パイプロハンマ 単 独 施 工	1	3	1	—
	ウ ^ォ ーター ^シ ェット 併 用 施 工	1	3	1	1

5. 日当り施工枚数 (継施工を伴う打込み)

5-1 打込み作業

鋼矢板、H形鋼 1 枚 (本) につき 1 箇所継施工 (打込み) する場合の、1 日当り打込み枚数及び本数 (N) は表 5. 1～5. 6 による。

また、鋼矢板、H形鋼 1 枚 (本) につき 2 箇所以上継施工を行う場合は、表 5. 7 の補正係数を表 5. 1～5. 6 の枚数及び本数に乗じて 1 日当り継施工枚数及び本数を求める。

- (注) 1. 鋼矢板、H形鋼 1 枚 (本) 当り X 箇所継ぐ場合の日当り継施工枚数及び本数 = $N \times F$
 2. 日当り継施工枚数及び本数については、整数止め (小数点以下四捨五入) とする。

5-1-1 電動式パイプロハンマ単独による施工 (N_{max}<50)

表 5. 1 日当り継施工数量 (N) { 1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ }

型式 打込み長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅳ型	V _L 型	Ⅱ _w 型	Ⅲ _w 型	Ⅳ _w 型	10H型	25H型
2以下	21	17	15	8	19	15	10	10	8
4以下	20	16	14	8	18	14	10	9	7
6以下	19	15	13	8	17	13	9	9	7
9以下	18	14	12	7	16	12	9	8	7
12以下	17	13	11	7	15	11	8	8	6
15以下	16	12	10	6	14	11	8	8	6
19以下	—	12	10	6	—	10	7	—	6
23以下	—	—	9	6	—	—	7	—	—
25以下	—	—	9	6	—	—	7	—	—

型式 打込み長(m)	H250	H300	H350	H400
2以下	18	14	13	10
4以下	17	13	12	9
6以下	16	12	11	9
9以下	15	11	10	8
12以下	14	10	9	7
15以下	12	10	8	6
19以下	—	9	8	6
23以下	—	8	7	5
25以下	—	8	6	5

(注) 施工枚数には、導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

5-1-2 油圧式パイプロハンマ単独による施工 (N_{max}<50)

表 5. 2 日当り継施工数量 (N) { 1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ }

型式 打込み長 (m)	Ⅱ 型	Ⅲ 型	Ⅳ 型	V _L 型	Ⅱ w 型	Ⅲ w 型	Ⅳ w 型	10H 型	25H 型
2 以下	21	17	15	8	19	15	10	10	8
4 以下	20	16	14	8	18	14	10	9	7
6 以下	19	15	13	8	17	13	9	9	7
9 以下	18	14	12	7	16	12	9	8	7
12 以下	16	13	11	7	14	11	8	8	6
15 以下	15	12	10	6	13	10	7	7	6
19 以下	—	11	9	6	—	9	7	—	5
23 以下	—	—	9	5	—	—	6	—	—
25 以下	—	—	8	5	—	—	6	—	—

型式 打込み長 (m)	H250	H300	H350	H400
2 以下	18	14	13	10
4 以下	17	13	11	9
6 以下	16	12	10	8
9 以下	14	11	9	8
12 以下	13	10	9	7
15 以下	12	9	8	6
19 以下	—	9	7	6
23 以下	—	8	6	5
25 以下	—	7	6	5

(注) 施工枚数には、導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

5-1-3 電動式パイプロハンマとウォータージェット併用による施工

表 5. 3 日当り継施工数量 (N) { 1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ }

型式 打込み長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅳ型	V _L 型	Ⅱw型	Ⅲw型	Ⅳw型	10H型	25H型
2 以下	22 (23)	17 (18)	15 (15)	8 (9)	20 (21)	15 (16)	11 (11)	10 (10)	8 (8)
4 以下	18 (19)	15 (15)	13 (13)	8 (8)	17 (18)	13 (14)	9 (10)	9 (9)	7 (7)
6 以下	16 (17)	13 (14)	11 (12)	7 (7)	14 (15)	11 (12)	8 (9)	8 (8)	6 (7)
9 以下	13 (14)	11 (12)	9 (10)	6 (7)	12 (13)	10 (11)	7 (8)	7 (8)	6 (6)
12以下	11 (12)	9 (10)	8 (9)	5 (6)	10 (11)	8 (9)	6 (7)	6 (7)	5 (6)
15以下	9 (11)	8 (9)	7 (8)	5 (5)	9 (10)	7 (8)	5 (6)	5 (6)	5 (5)
19以下	—	8 (8)	7 (8)	4 (5)	—	6 (7)	5 (6)	5 (6)	4 (5)
23以下	—	—	6 (7)	4 (5)	—	—	5 (5)	—	4 (4)
25以下	—	—	5 (6)	4 (4)	—	—	4 (5)	—	4 (4)

型式 打込み長(m)	H250	H300	H350	H400
2 以下	19 (19)	14 (15)	13 (13)	10 (11)
4 以下	15 (16)	12 (13)	11 (11)	9 (9)
6 以下	13 (14)	10 (11)	9 (10)	7 (8)
9 以下	11 (12)	9 (10)	8 (9)	6 (7)
12以下	9 (10)	8 (9)	6 (8)	5 (6)
15以下	8 (9)	7 (8)	5 (7)	5 (6)
19以下	7 (8)	6 (7)	5 (6)	4 (5)
23以下	—	5 (6)	4 (5)	4 (5)
25以下	—	5 (6)	4 (5)	3 (4)

(注) 1. 凡 例

上段 : $50 \leq N_{\max} \leq 100$

下段 () 書き : $N_{\max} < 50$ で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

2. 施工枚数には、導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

5-1-4 電動式パイプロハンマとウォータージェット併用による施工 ($100 \leq N_{\max} \leq 180$)

表 5. 4 日当り継施工数量 (N) { 1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ }

型式 打込み長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅳ型	V _L 型	Ⅱw型	Ⅲw型	Ⅳw型	10H型	25H型
2以下	21	17	14	8	19	15	10	10	8
4以下	17	14	11	7	15	12	8	8	6
6以下	14	11	10	6	12	10	7	7	6
9以下	11	9	8	5	10	8	6	6	5
12以下	9	8	7	4	8	7	5	5	4
15以下	8	7	6	4	7	6	4	4	4
19以下	—	5	5	3	—	5	4	4	3
23以下	—	—	4	3	—	—	3	—	3
25以下	—	—	4	3	—	—	3	—	3

型式 打込み長(m)	H250	H300	H350	H400
2以下	18	14	12	10
4以下	14	11	9	7
6以下	11	9	7	6
9以下	9	7	6	5
12以下	7	6	5	4
15以下	6	5	4	3
19以下	6	5	3	3
23以下	—	4	3	2
25以下	—	3	3	2

(注) 施工枚数には、導材（ガイド）及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

５－１－５ 油圧式バイプロハンマとウォータージェット併用による施工

表 5. 5 日当り継施工数量 (N) { 1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ }

型式 打込み長 (m)	Ⅱ 型	Ⅲ 型	Ⅳ 型	V L 型	Ⅱ w 型	Ⅲ w 型	Ⅳ w 型	10H 型	25H 型
2 以下	22 (22)	17 (17)	15 (15)	8 (9)	20 (20)	15 (16)	10 (11)	10 (10)	8 (8)
4 以下	17 (19)	14 (15)	12 (13)	7 (8)	16 (17)	12 (13)	9 (9)	8 (9)	7 (7)
6 以下	15 (16)	12 (13)	10 (11)	6 (7)	13 (14)	11 (12)	8 (8)	8 (8)	6 (6)
9 以下	12 (14)	10 (11)	9 (10)	6 (6)	11 (12)	9 (10)	7 (7)	6 (7)	5 (6)
12 以下	10 (11)	8 (10)	7 (9)	5 (6)	9 (10)	7 (8)	5 (7)	6 (6)	5 (5)
15 以下	9 (10)	7 (8)	6 (8)	4 (5)	8 (9)	6 (8)	5 (6)	5 (6)	4 (5)
19 以下	—	6 (8)	6 (7)	4 (4)	—	5 (7)	4 (5)	4 (5)	4 (4)
23 以下	—	—	5 (6)	3 (4)	—	—	4 (5)	—	3 (4)
25 以下	—	—	4 (5)	3 (4)	—	—	3 (4)	—	3 (4)

型式 打込み長 (m)	H250	H300	H350	H400
2 以下	18 (19)	14 (14)	12 (13)	10 (10)
4 以下	14 (16)	11 (12)	10 (11)	8 (9)
6 以下	12 (14)	10 (11)	8 (9)	7 (8)
9 以下	10 (11)	8 (9)	7 (8)	5 (7)
12 以下	8 (10)	7 (8)	5 (7)	5 (6)
15 以下	7 (8)	6 (7)	4 (6)	4 (5)
19 以下	6 (7)	5 (6)	4 (5)	3 (4)
23 以下	—	4 (5)	3 (4)	3 (4)
25 以下	—	4 (5)	3 (4)	2 (4)

(注) 1. 凡 例

上段 : $50 \leq N_{\max} < 100$

下段 () 書き : $N_{\max} < 50$ で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

2. 施工枚数には、導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

5-1-6 油圧式パイプロハンマとウォータージェット併用による施工 ($100 \leq N_{\max} \leq 180$)

表 5. 6 日当り継施工数量 (N) { 1 枚 (本) 当り 1 箇所継ぎ }

型式 打込み長 (m)	Ⅱ 型	Ⅲ 型	Ⅳ 型	V _L 型	Ⅱ w 型	Ⅲ w 型	Ⅳ w 型	10H 型	25H 型
2 以下	20	16	14	8	18	14	10	9	7
4 以下	15	12	10	6	13	10	7	8	6
6 以下	12	10	8	5	10	8	6	6	5
9 以下	9	8	7	4	8	6	5	5	4
12 以下	8	7	5	4	6	5	4	4	3
15 以下	6	5	5	3	6	4	3	4	3
19 以下	—	4	4	3	—	3	3	3	2
23 以下	—	—	3	2	—	—	2	—	2
25 以下	—	—	3	2	—	—	2	—	2

型式 打込み長 (m)	H250	H300	H350	H400
2 以下	17	13	11	9
4 以下	12	10	8	6
6 以下	10	7	6	5
9 以下	7	6	4	4
12 以下	6	5	4	3
15 以下	5	4	3	2
19 以下	4	3	3	2
23 以下	—	3	2	2
25 以下	—	3	2	2

(注) 施工枚数には、導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。

5-1-7 鋼矢板・H形鋼1枚（本）当り箇所継施工による補正

表 5. 7 補正係数（F）〔鋼矢板（H形鋼）1枚（本）当り2箇所以上継施工を行う場合〕

適 用	鋼矢板：Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ _L ・Ⅱ _W ・Ⅲ _W ・Ⅳ _W ・10H・25H											
最大N値	単独施工 (N _{max} <50)				ウォータージェット併用施工 (50≤N _{max} <100)				ウォータージェット併用施工 (100≤N _{max} ≤180)			
継 施 工 箇 所 数	2 箇所	3 箇所	4 箇所	5 箇所	2 箇所	3 箇所	4 箇所	5 箇所	2 箇所	3 箇所	4 箇所	5 箇所
補正係数 (F)	0.63	0.46	0.37	0.30	0.70 (0.67)	0.54 (0.51)	0.44 (0.42)	0.38 (0.35)	0.74	0.60	0.50	0.43

適 用	H形鋼：H250・H300・H350・H400											
最大N値	単独施工 (N _{max} <50)				ウォータージェット併用施工 (50≤N _{max} <100)				ウォータージェット併用施工 (100≤N _{max} ≤180)			
継 施 工 箇 所 数	2 箇所	3 箇所	4 箇所	5 箇所	2 箇所	3 箇所	4 箇所	5 箇所	2 箇所	3 箇所	4 箇所	5 箇所
補正係数 (F)	0.66	0.49	0.39	0.33	0.72 (0.69)	0.57 (0.54)	0.48 (0.44)	0.41 (0.37)	0.77	0.63	0.54	0.48

（注）ウォータージェット併用施工における（ ）書きは、N_{max}<50 の場合で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要がある場合。

5-2 諸 雑 費

諸雑費は、溶接棒、導材（ガイド）賃料、敷鉄板賃料、電気溶接機損料、ウォータージェット併用施工用付属機器に関する経費（配管バンド及び溶接棒、電気溶接機損料、水中ポンプ損料、水槽及び配管損料）、現場内小運搬に関する経費、電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に下表の率を乗じた金額を計上する。

表 5. 8 諸雑費率

施 工 区 分	バイプロハンマ 機種・規格		諸雑費率（％）		
			普通・広幅 鋼矢板	ハット形 鋼矢板	H形鋼
バイプロハンマ 単独施工・打込み	電動式	60kW	17	15	17
		90kW	20	17	20
	油圧式	242kW	2	2	1
ウォータージェット 併用施工・打込み	電動式	60kW	18(21)（注）	16(19)（注）	17(20)（注）
		90kW	20(23)（注）	17(20)（注）	19(22)（注）
	油圧式	242kW	6（7）（注）	6（6）（注）	5（6）（注）

（注）ウォータージェット併用施工・打込みにおける（ ）書きは、N_{max}<50の場合で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要がある場合。

6. 単価表

(1) バイプロハンマ施工による鋼矢板の継施工を伴う打込み 10 枚当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 4. 1 表 5. 1、5. 2、表 5. 7
と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃 〃
普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃 〃
溶 接 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃 〃
バイプロハンマ杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	表 3. 1、3. 3、3. 5 〃
継 施 工 費		箇所	10×X	
諸 雑 費		式	1	表 5. 8
計				

(注) N：日当り施工枚数（枚／日）

X：1 枚当り継施工箇所数（箇所／枚）

(2) バイプロハンマ施工によるH形鋼の継施工を伴う打込み 10 本当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 4. 1 表 5. 1、5. 2、表 5. 7
と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 3$	〃 〃
普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃 〃
バイプロハンマ杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	表 3. 1、3. 3、3. 5 〃
継 施 工 費		箇所	10×X	
諸 雑 費		式	1	表 5. 8
計				

(注) N：日当り施工枚数（本／日）

X：1 枚当り継施工箇所数（箇所／本）

(3) パイプロハンマ杭打機とウォータージェット併用施工による鋼矢板の継施工に伴う打込み 10 枚当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 4. 1 表 5. 3～5. 7
と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃 〃
普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃 〃
溶 接 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃 〃
パイプロハンマ杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	表 3. 1、 3. 3、 3. 5 〃
杭打ち用ウォータージェット運転	エンジン式 排出対策型 (第 1 次基準値) ポンプ圧力 14. 7MPa 吐出量 325ℓ/min	〃	$\frac{10}{N} \times \text{台数}$	表 3. 1、 3. 3 〃
継 施 工 費		箇所	10×X	
諸 雑 費		式	1	表 5. 8
計				

(注) N：日当り施工枚数 (枚/日)

X：1 枚当り継施工箇所数 (箇所/枚)

(4) パイプロハンマ杭打機とウォータージェット併用施工による H 形鋼の継施工に伴う打込み 10 本当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 4. 1 表 5. 3～5. 7
と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 3$	〃 〃
普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃 〃
溶 接 工		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃 〃
パイプロハンマ杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	表 3. 1、 3. 3、 3. 5 〃
杭打ち用ウォータージェット運転	エンジン式 排出対策型 (第 1 次基準値) ポンプ圧力 14. 7MPa 吐出量 325ℓ/min	〃	$\frac{10}{N} \times \text{台数}$	表 3. 1、 3. 3 〃
継 施 工 費		箇所	10×X	
諸 雑 費		式	1	表 5. 8
計				

(注) N：日当り施工枚数 (本/日)

X：1 枚当り継施工箇所数 (箇所/本)

(5) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
電動式ハーフローハンマ杭打機	電動式・普通型 60kW、90kW	機－２０	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →76 機械損料 1 →ハーフローハンマ（単体） 電動式・普通型 60kW、90kW 機械損料数量 →1.31 機械損料 2 クローラクレーン 排出ガス対策型（2014年規制） （油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型） 50～55 t 吊 機械損料数量 →1.31
電動式ハーフローハンマ杭打機 （ハット形鋼矢板用）	電動式・可変 モーメント型 60kW、90kW	機－２０	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →76 機械損料 1 →ハーフローハンマ（単体） 電動式・可変モーメント型 60kW、90kW 機械損料数量 →1.31 機械損料 2 クローラクレーン 排出ガス対策型（2014年規制） （油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型） 50～55 t 吊 機械損料数量 →1.31
油圧式ハーフローハンマ杭打機	油圧式・ 可変超高周波型 排出ガス対策型 （第3次基準値）・ 最大起振力 473kN・ 242kW	機－２０	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →473 機械損料 1 →ハーフローハンマ 油圧式・可変超高周波型 242kW 機械損料数量 →1.31 機械損料 2 →クローラクレーン 排出ガス対策型（2014年規制） （油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型） 50～55 t 吊 機械損料数量 →1.31
油圧式ハーフローハンマ杭打機 （ハット形鋼矢板用）	油圧式・ 可変超高周波型 排出ガス対策型 （第3次基準値）・ 最大起振力 473kN・ 242kW	機－２０	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →473 機械損料 1 →ハーフローハンマ 油圧式・可変超高周波型 242kW 機械損料数量 →1.31 機械損料 2 →クローラクレーン 排出ガス対策型（2014年規制） （油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型） 50～55 t 吊 機械損料数量 →1.31
杭打ち用ウォータージェット	エンジン式 排出ガス対策型 （第3次基準値） 圧力 14.7MPa 吐出量 325ℓ/min	機－２４	燃料消費量 →139 機械損料数量 →1.31

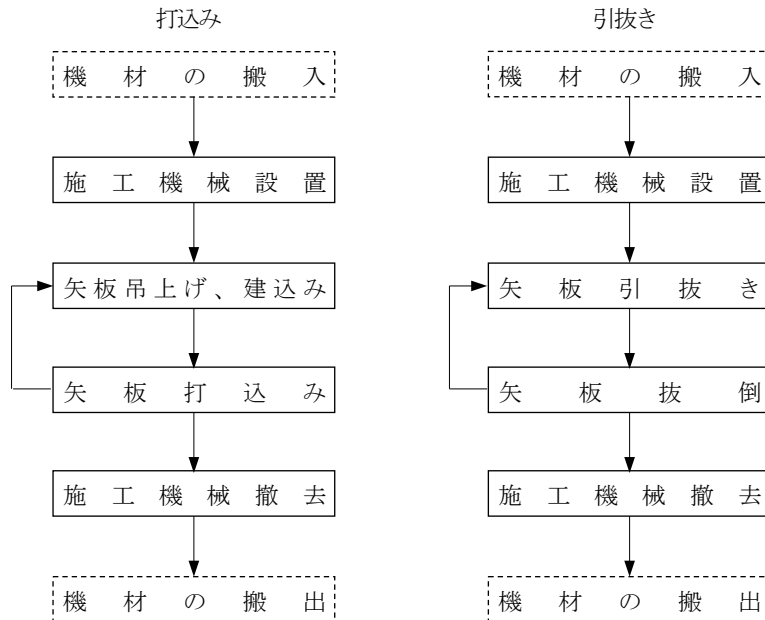
③ 軽量鋼矢板打設・引抜（パイプロハンマ）

1. 適用範囲

本歩掛は、電動式パイプロハンマを用いた、軽量鋼矢板の打設・引抜に適用する。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 機種の選定

3-1 使用機械の規格

使用機械の規格は、次表を標準とする。

表 3. 1 使用機械の規格

機 種	規 格	摘 要
電 動 式 バ イ プ ロ ハ ン マ	15kW	
ク ロ ー ラ ク レ ー ン	機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型 16t 吊	
ト ラ ッ ク ク レ ー ン	油圧伸縮ジブ型 16t 吊	必要により計上
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) 17/20kVA	〃

(注) 1. トラッククレーンは、小運搬用クレーンとして、下記の場合等必要に応じて計上する。

- ① 施工場所から 30m 以内のところに材料置場を設けることができない場合。
- ② 民家、その他施設、構造物等を破損又は危険にさらすおそれのある場合。

2. 発動発電機

発動発電機は、商用電源がない場合に計上する。

4. 編成人員及び運転時間

4-1 編成人員

軽量鋼矢板の1班編成は、次表を標準とする。

表 4. 1 軽量鋼矢板工編成人員 (人)			
工種	職種	世話役	とび工
軽量鋼矢板施工		1	2
			普通作業員
			1

4-2 運転時間

- (1) 軽量鋼矢板施工機械の運転日当り運転時間は、「土地改良事業等請負工事機械経費算定基準」の杭打機の標準時間とする。
- (2) バイブロハンマの電源に商用電源を用いた場合の電力料の算出は、軽量鋼矢板1枚当り施工時間（ T_c ）に、0.7を乗じたものとする。
- (3) 補助クレーンは単独機械とし、運転時間は軽量鋼矢板1枚当り施工時間の60%とする。

5. 施工歩掛

軽量鋼矢板1枚当りの打込み又は引抜き施工時間は、次式による。

$$T_c = \frac{T_s + T_b}{F} \quad (\text{min/枚})$$

T_c : 軽量鋼矢板1枚当り施工時間 (min/枚)

T_s : " 準備時間 (min/枚)

T_b : " 打込み又は引抜き時間 (min/枚)

F : 作業係数

5-1 軽量鋼矢板1枚当り準備時間（ T_s ）

表 5. 1 軽量鋼矢板1枚当り準備時間（ T_s ） (min/枚)	
打 込 み	引 抜 き
$T_s = 0.3 \times L + 2$	$T_s = 0.15 \times L + 1.5$

(注) 1. 準備時間には、打込みのための準備時間も含む。

2. L : 矢板長さ (m)

5-2 軽量鋼矢板1枚当り打込み又は引抜き時間（ T_b ）

$$T_b = \gamma \times \ell \times K$$

T_b : 軽量鋼矢板1枚当り打込み、引抜き時間 (min/枚)

γ : 土質による打込み、引抜き時間 (min/m)

ℓ : 矢板根入長 (m)

K : 矢板種類による係数

表 5. 2 土質による打込み又は引抜き作業時間 (γ_1 、 γ_2) (min/枚)

工 種	土 質	砂質土・砂・礫質土 (γ_1)	粘性土 (γ_2)
	打 込 み	0.02N ₁ +0.7	0.03N ₂ +0.7
	引 抜 き	0.4	0.7

(注) 1 : N₁、N₂ : 各土質ごとの根入れ長に対する加重平均N値とする。

2 : γ の算出については、 γ_1 、 γ_2 を各々算出し、次式により加重平均する。

$$\gamma = \frac{\gamma_1 \times \ell_1 + \gamma_2 \times \ell_2}{\ell_1 + \ell_2}$$

γ : 施工土質に対する打込み、引抜き作業時間 (min/m)

γ_1 : 砂質土・砂・礫質土に対する打込み、引抜き作業時間 (min/m)

γ_2 : 粘性土に対する打込み、引抜き作業時間 (min/m)

ℓ_1 : γ_1 に対する根入れ長 (m)

ℓ_2 : γ_2 に対する根入れ長 (m)

表 5. 3 軽量鋼矢板種類による係数 (K)

種 類	工 種	打込み	引抜き
	軽量鋼矢板 250 mm	0.50	0.60
	軽量鋼矢板 300 mm	0.80	0.95

5-3 作業係数 (F)

現場作業条件による作業係数 (F) は、表 5. 4 の基準作業係数 (F_o) に表 5. 5 の作業条件による補正を加え算出する。

$$F = F_o + (f_1 + f_2 + f_3 + f_4)$$

(1) 基準作業係数

基準作業係数は、次表とする。

表 5. 4 基準作業係数

工 種	F _o
打 込 み	0.80
引 抜 き	0.70

(2) 作業条件による補正係数

作業条件による補正係数は、次表とする。

表 5. 5 作業条件による補正係数

補正 係数	補正值	—0.05	0	+0.05	摘 要
	作業条件				
f ₁	家屋、鉄道、橋梁、道路、施設、構造物などによる障害の程度	かなりある	な し	—	作業中断の有無、並びに機械の行動に制約される。
f ₂	現場の広さによる作業難易の程度	不 良	普 通	—	機械の移動、矢板の仮置場所、矢板の吊込み等に十分な広さがあるか。
f ₃	足場の状況により作業に及ぼす程度	不 良	普 通	良	不陸、軟弱等による足場の良否
f ₄	施 工 規 模	100 枚未満	100 枚以上 300 枚未満	300 枚以上	

6. 単価表

(1) 軽量鋼矢板打込み又は引抜き 10 枚当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	$\frac{10 \times T_c}{60} \times \frac{1}{T} \times 1$	
と び 工		〃	$\frac{10 \times T_c}{60} \times \frac{1}{T} \times 2$	
普 通 作 業 員		〃	$\frac{10 \times T_c}{60} \times \frac{1}{T} \times 1$	
バイプロハンマ 杭 打 機 運 転	15kW	h	$\frac{10 \times T_c}{60}$	ベースマシン +バイプロハンマ
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) 17/20kVA	日	$\frac{10 \times T_c}{60} \times \frac{1}{T}$	必要に応じて計上する
トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊	h	$\frac{10 \times T_c}{60} \times 0.6$	必要に応じて計上する
計				

(注) T_c : 軽量鋼矢板 1 枚当り施工時間 (min)

(少数第 1 位四捨五入、整数止めとする。)

T : バイプロハンマの運転日当り運転時間 (h)

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
電 動 式 バイプロハンマ 杭 打 機	15kW	機－5	商用電力を使用した場合は下記による 電力量→ $E \times 0.7$ E →バイプロハンマの運転時間当り電力消費量(kWh) T_c →矢板 1 枚当り施工時間 (分)
ト ラ ッ ク ク レ ー ン	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊	機－1	
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン 17/20kVA	機－1 2	運転時間→バイプロハンマの標準 運転日当り運転時間 (T)

④ 仮設電気

1. 一般事項

受電設備、配電設備並びに分電盤設備等の一般的なものは、この基準によるが、トンネル内の配線等は、「10. トンネル工④トンネル仮設備」によるものとする。

2. 受電設備

- 2-1 契約電力が50kW以上又は、高圧（3kV、6kV）の負荷がある場合は高圧受電とし、受電電圧は6kVとする。
- 2-2 契約電力が50kW未満の場合は低圧受電とし、受電電圧は200Vとする。
- 2-3 負荷設備に対するトランス容量は次による。
 - 2-3-1 タイトランス用（6,000V／3,000V）
 - 2-3-2 低圧動力用（三相）（6,000V／200V－100V）
 - 2-3-3 電灯電熱用（単相）（6,000V／200V－100V）
- 2-4 トランス容量に対する簡易配電盤規格は次による。
 - 2-4-1 簡易配電盤（屋外用）
- 2-5 高圧受電設備の配置・撤去歩掛は次による。
 - 2-5-1 高圧引込及び構内配電設備設置・撤去
 - 2-5-2 高圧引込設備設置・撤去
- 2-6 低圧受電設備の配置・撤去歩掛は次による。
 - 2-6-1 低圧引込設備設置・撤去

3. 配電設備

- 3-1 避雷器設備設置・撤去歩掛は次による。
 - 3-1-1 避雷器設備設置・撤去
- 3-2 接地設置・撤去歩掛は次による。
 - 3-2-1 接地設置・撤去
- 3-3 負荷設備容量と配電電圧の配電距離に対する電線規格は次による。
 - 3-3-1 配電線の選定
 - 3-3-2 三相3線式（高圧）（力率0.9 電圧降下10%）
 - 3-3-3 三相3線式（低圧）（力率0.9 電圧降下10%）
 - 3-3-4 単相3線式・単相2線式（低圧）（力率1.0 電圧降下5%）
 - 3-3-5 3心ケーブル（高圧）（力率0.9 電圧降下10%）
 - 3-3-6 3心ケーブル（低圧）（力率0.9 電圧降下10%）
 - 3-3-7 3心ケーブル・2心ケーブル（低圧）（力率1.0 電圧降下5%）

4. 配電設備の材料及び設置・撤去歩掛は次による。

- 4-1 架空線設置・撤去歩掛は次による。
 - 4-1-1 高低圧建柱工
 - 4-1-2 低圧建柱工
 - 4-1-3 高圧配線工
 - 4-1-4 低圧配線工
- 4-2 トラフ内ケーブル設置・撤去歩掛は次による。
 - 4-2-1 高圧ケーブル3心（トラフ内）
 - 4-2-2 低圧ケーブル3心（トラフ内）
 - 4-2-3 低圧ケーブル2心（トラフ内）
- 4-3 地上施設ケーブル設置・撤去歩掛は次による。
 - 4-3-1 高圧ケーブル3心（地上施設）
 - 4-3-2 低圧ケーブル3心（地上施設）
 - 4-3-3 低圧ケーブル2心（地上施設）

4-4 端末処理歩掛は次による。

4-4-1 端末処理（高圧ケーブル3心）

5. 柱上変電設備の材料及び設置・撤去歩掛は次による。

5-1 柱上変電設備1台乗单相・高圧配電線路有り

5-2 柱上変電設備1台乗三相・高圧配電線路有り

5-3 柱上変電設備2台乗・高圧配電線路有り

5-4 柱上変電設備H変台・高圧配電線路有り

6. 分電盤設備

6-1 分電盤は負荷の最も近い場所に設置するものとし、動力の場合は三相、電灯の場合は单相を計上する。

6-2 分電盤設備の材料及び設置・撤去歩掛は次による。

6-2-1 分電盤設備（3線式）

6-2-2 分電盤設備（2線式）

7. 損料及び損耗期間

7-1 簡易配電盤、トランス及び気中開閉器損料は「土地改良事業等請負工事機械経費算定基準」による。

7-2 上記以外の材料（電球を除く）は次による。

7-2-1 耐用年数 5年

7-2-2 償却費率 0.9

7-2-3 現場管理費 0

7-2-4 年間機械管理費 0.05

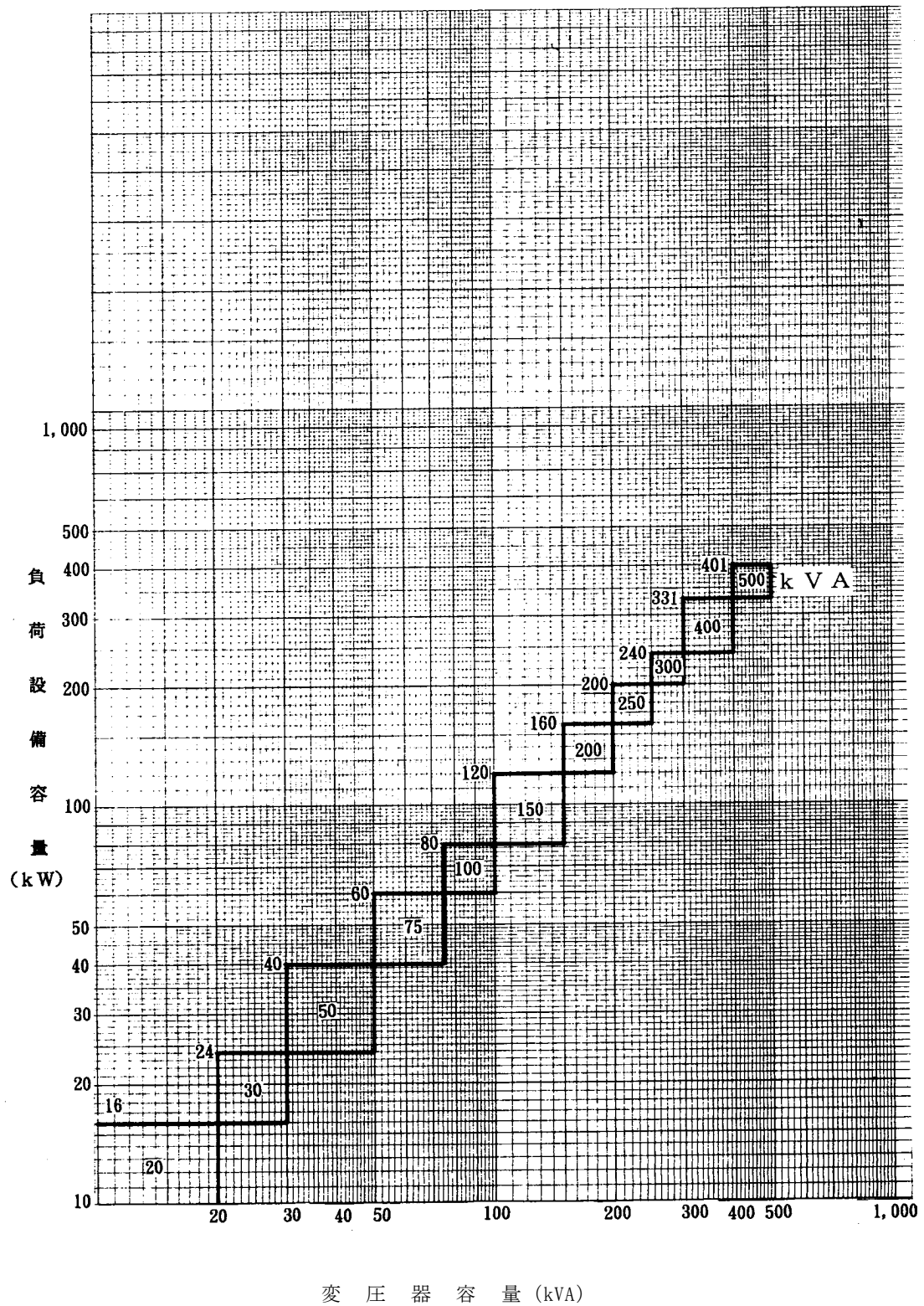
$$\text{損耗率} = \frac{0.9 + (0.05 \times 5\text{年})}{60\text{ヶ月}} = \frac{1.15}{60} = 0.01917/\text{月}$$

$$\begin{aligned} \text{材料損料} &= 0.01917/30\text{日} \times \text{供用日} \\ &= 0.000639 \times \text{供用日} \\ &\quad (\text{小数点以下第4位四捨五入3位止}) \end{aligned}$$

8. 電気設備計画フロー

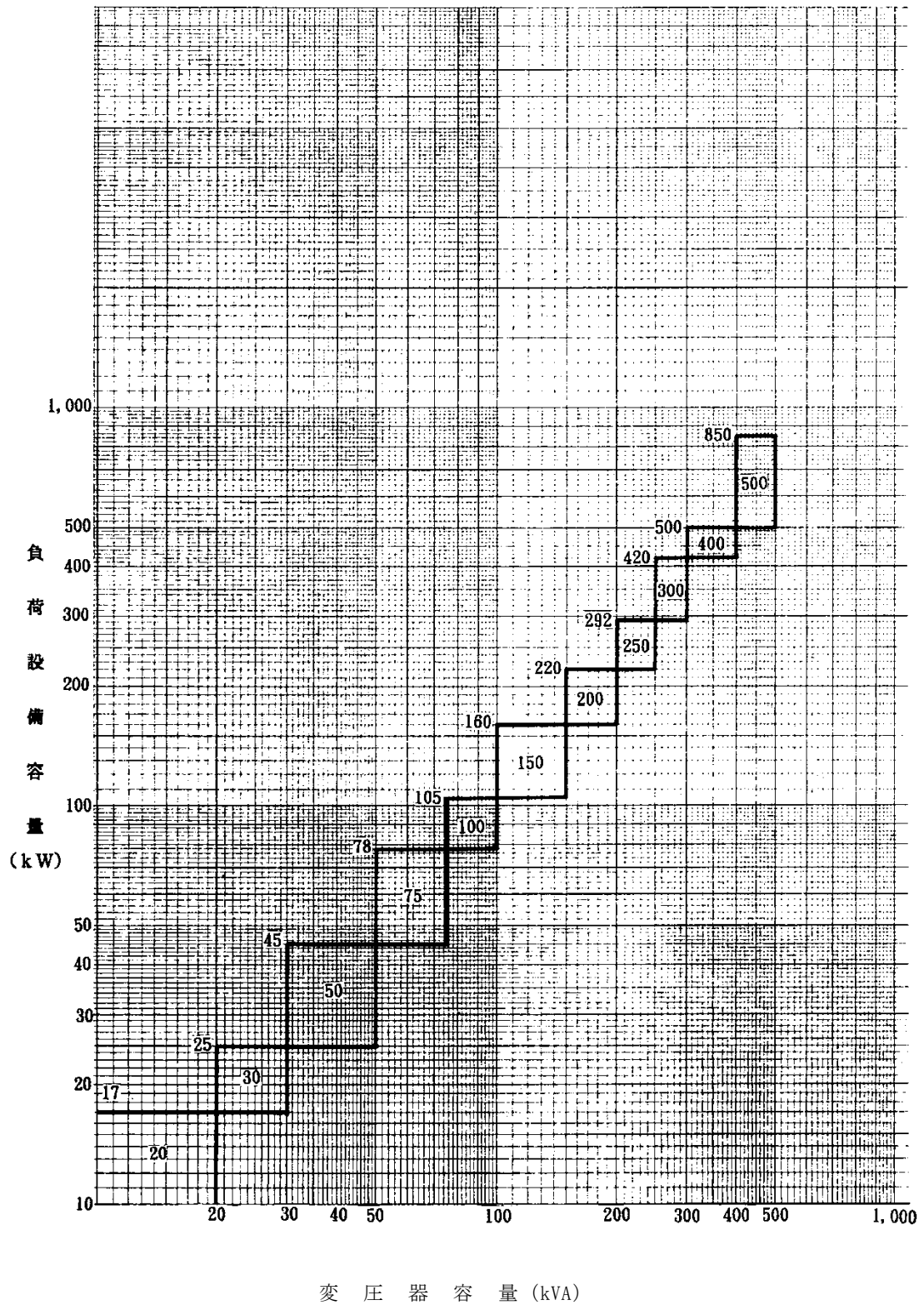
2-3-1 タイトランス用 (6,000V/3,000V)

下図により負荷設備容量及び変圧器容量からトランス容量を選定する。



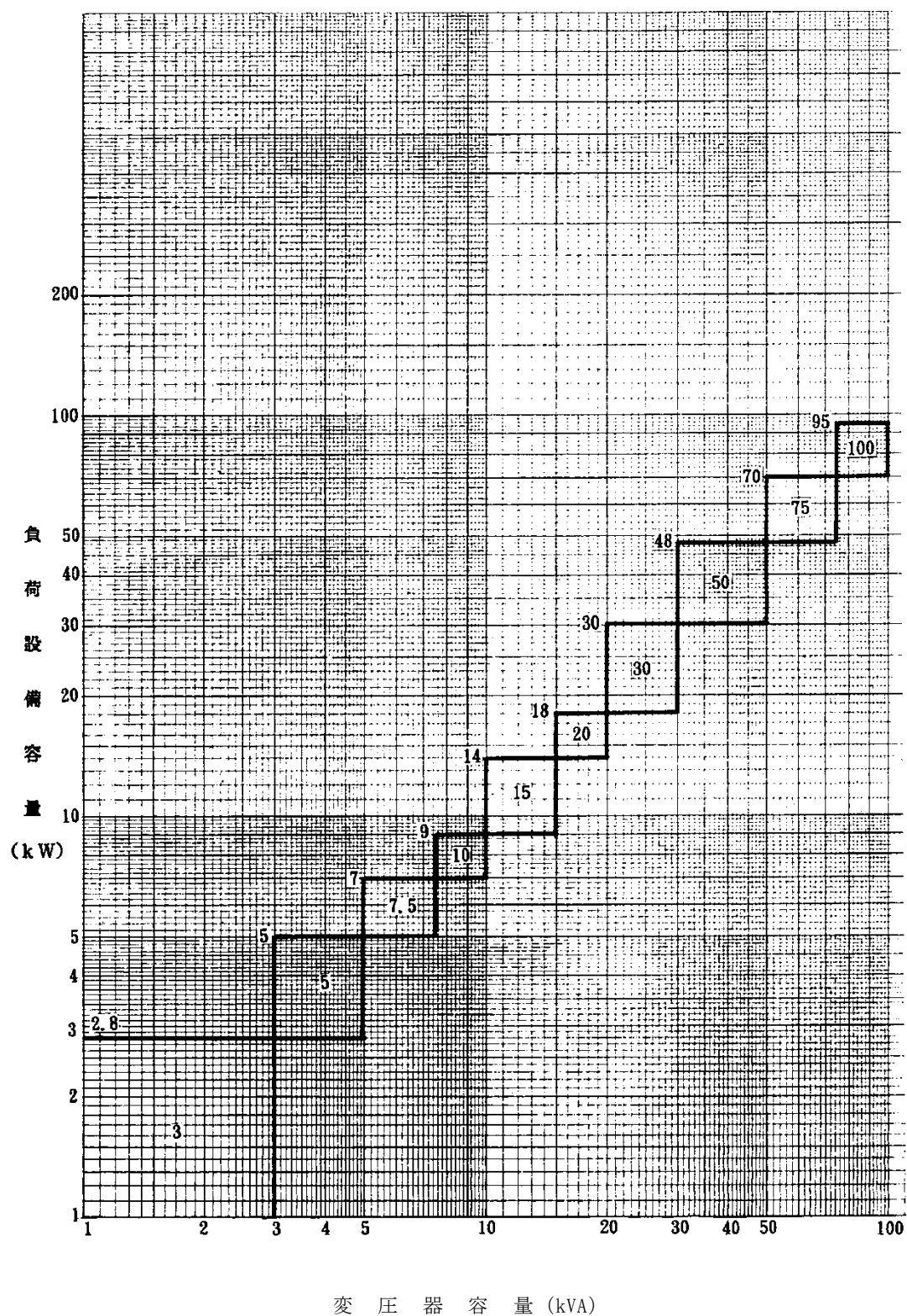
2-3-2 低圧動力用（三相）（6,000V／200V－100V）

下図により負荷設備容量及び変圧器容量からトランス容量を選定する。



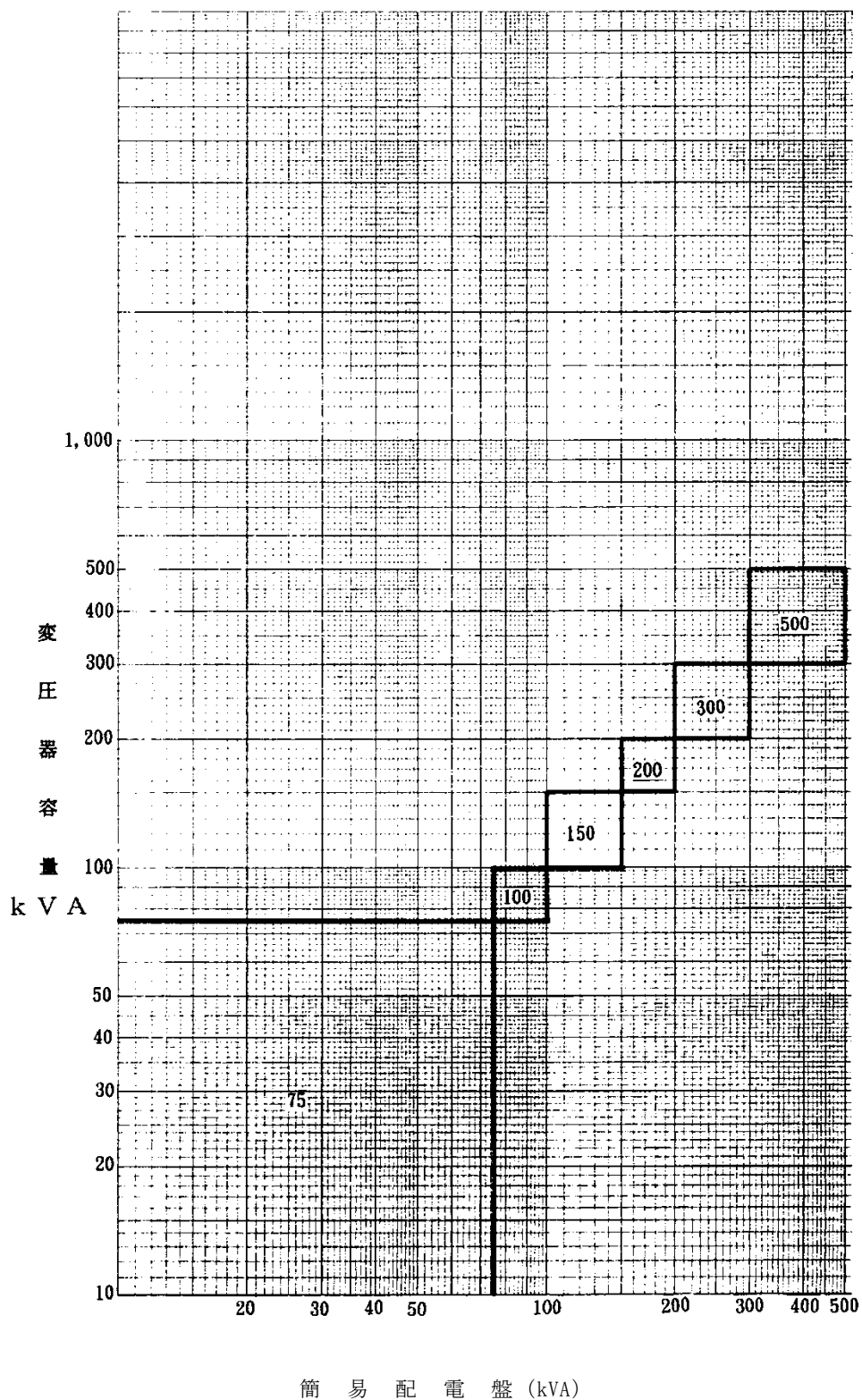
2-3-3 電灯電熱用（単相）（6,000V／200V－100V）

下図により負荷設備容量及び変圧器容量からトランス容量を選定する。



2-4-1 簡易配電盤（屋外用）

下図によりトランス容量から簡易配電盤規格を選定する。



2-5-1 高圧引込及び構内配電設備設置・撤去

1. 適用範囲

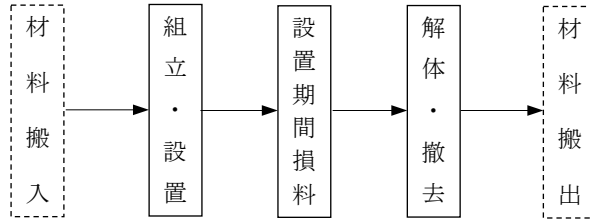
高圧で受電し、高圧架空線路で送電する場合に適用する。

工事用受電設備の責任分界柱、引込ケーブル、簡易配電盤（受電専用）及び配電ケーブルの設置又は撤去に適用する。

高圧受電は 50kW 以上 500kW 未満とする。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 労務歩掛

表 3. 1 設置歩掛

（1箇所当り）

工 種	規 格	電工	普作	摘 要
建 柱 工	コンクリート柱 8 m	1.20	2.00	腕金 1 本含む
気中開閉器取付工	地絡付 200A	0.75	0.45	
腕 金 取 付 工	0.9m、1.5m	0.60	0.20	
簡 易 配 電 盤		4.50	2.00	
ケ ー ブ ル 布 設	6 kV CV 3C 38mm ²	4.80	—	
ケーブル端末処理	〃	3.60	—	
接 地	A 種開閉器用	1.00	2.00	
配 線 管 布 設	VE φ 54 屋外	1.20	—	
支 線 工	スチールロック 2 号	0.60	0.70	
計		18.25	7.35	

（注） 1. 接地工の床掘、埋戻及び接地抵抗の測定を含む。

2. 撤去歩掛は「ケーブル端末処理を除く設置歩掛」の 50%を計上する。（小数点以下第 3 位四捨五入 2 位止）

4. 使用材料

表 4. 1 使用材料

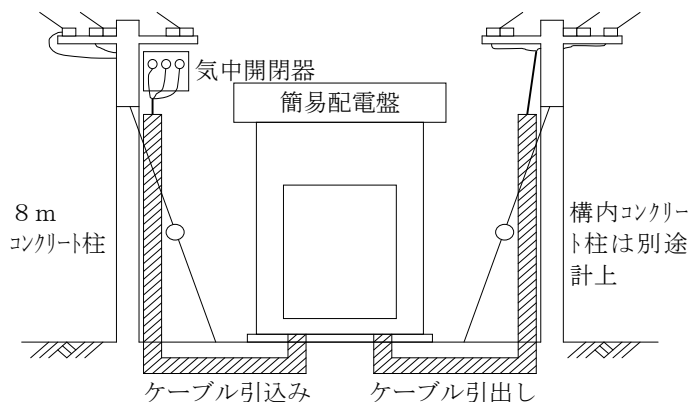
(1箇所当り)

名 称	形状・規格	単位	数量	摘 要
コンクリート柱	8 m	本	1	損料①
コンクリート根枷	電力形 (バンド別)	個	1	〃
軽 腕 金	引留用 1,500mm	本	2	〃
	電線用 900mm	〃	1	〃
軽腕金用アームタイレスバンド	SABD-19S-DW	個	3	〃
高 圧 耐 張 碍 子	普通形	〃	6	〃
高 圧 ピ ン 碍 子	普通形 大	〃	3	〃
ス テ ー ブ ロ ッ ク	2 号 600×300mm	組	1	〃
高 圧 ケ ー ブ ル	6 kV CV 3C 38mm ²	m	30	〃
そ の 他 材 料		%	20	〃
高 圧 端 末 処 理	6 kV CV 3C 38mm ² 屋内	組	2	全 損
	〃 屋外	〃	2	〃
接 地 極	900×900×1.5 mm	枚	1	〃
接 地 線	IV 14mm ²	m	15	〃
気 中 開 閉 器	地絡保護付 200A	台	1	損料②
簡 易 配 電 盤		面	1	〃
雑 品		%	0.5	

- (注) 1. 気中開閉器は柱上手動操作型(地絡保護過電流ロック機構付き)とする。
 2. キュービクルはC B形受電専用を使用する。
 3. 避雷器は必要により別途計上する。(A種接地で、接地極は開閉器用を供用できる。)
 4. 「損料①」の材料の損料率は供用日当り 0.0639%とする。
 5. その他材料は、根枷用Uバンド等であり「損料①」の材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
 6. 雑品は、端子、ビニールテープ、銅線、半田等であり、設置労務費及び「損料②」の材料を除く材料の購入価格の合計額に、上表の率を乗じた金額を計上する。

5. 装柱図例

高圧受電高圧配電する場合



受電がいし以降、簡易配電盤、構内架空電線路接続まで。

6. 単価表

高圧引込及び構内配電設備設置・撤去 1箇所当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
コンクリート柱	8 m	本		表 4. 1
コンクリート根柢	電力形（バンド別）	個		〃
軽 腕 金	900mm	本		〃
〃	1,500mm	〃		〃
アームタイレスバンド	SABD-19S-DW	個		〃
高 圧 耐 張 碍 子	普通形	〃		〃
高 圧 ビ ン 碍 子	普通形 大	〃		〃
ス テ ー プ ロ ッ ク	2 号 600×300mm	組		〃
高 圧 ケ ー ブ ル	6 kV CV 3C 38mm ²	m		〃
そ の 他 材 料		式	1	〃
高 圧 気 中 開 閉 器	地絡保護付 200A	供用日		〃
簡 易 配 電 盤	CB 形受電専用 500kV 以下	〃		〃
端 末 処 理 材 料 （ 6 kV 屋 内 用 ）	6CI3 3C 断面積 38mm ²	組		〃
端 末 処 理 材 料 （ 6 kV 屋 外 用 ）	6CI3 3C 断面積 38mm ²	〃		〃
接 地 極	900×900×1.5mm	枚		〃
接 地 線	IV 14mm ²	m		〃
電 工		人		表 3. 1
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 品		式	1	表 4. 1
計				

2-5-2 高圧引込設備設置・撤去

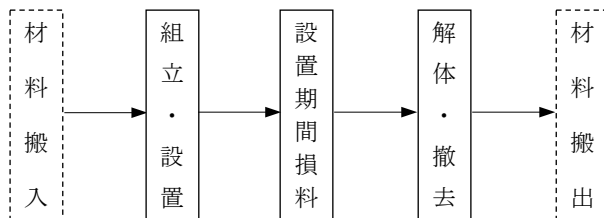
1. 適用範囲

工事用受電設備の責任分界柱、引込ケーブル布設及び簡易配電盤の設置又は撤去に適用する。

高圧受電は 50kW 以上 500kW 未満とする。ただし、構内配電線路から受電の場合は 50kW 未満でも高圧受電が可能である。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 労務歩掛

表 3. 1 設置歩掛

(1 箇所当たり)

工 種	規 格	電 工	普 作	摘 要
建 柱 工	コンクリート柱 8 m	1.20	2.00	腕金 1 本含む
気中開閉器取付工	地絡付 200A	0.75	0.45	
腕 金 取 付 工	0.9m、1.5m	0.60	0.20	
簡 易 配 電 盤		4.50	2.00	
ケ ー ブ ル 布 設	6 kV CV 3C 38mm ²	2.40	—	
ケーブル端末処理	〃	1.80	—	
接 地	A 種 開閉器用	1.00	2.00	
配 線 管 布 設	VEφ54 屋外	0.60	—	
支 線 工	スチールロック 2 号	0.60	0.70	
計		13.45	7.35	

(注) 撤去歩掛は「ケーブル端末処理を除く設置歩掛」の 50%を計上する。(小数点以下第 3 位四捨五入 2 位止)

4. 使用材料

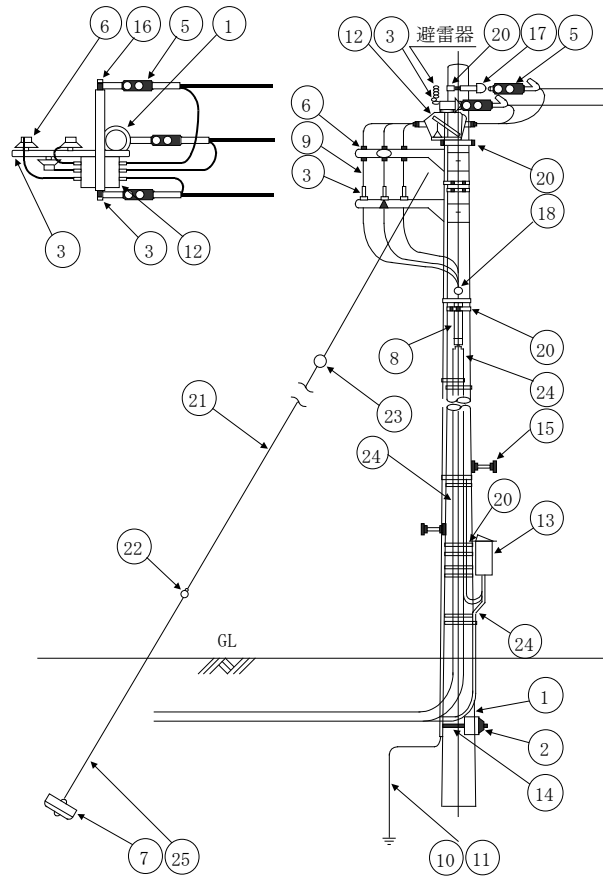
表 4. 1 使用材料

(1箇所当り)

名 称	形状・規格	単位	数量	摘 要
コンクリート柱	8 m	本	1	損料①
コンクリート根枷	電力形 (バンド別)	個	1	〃
軽 腕 金	引留用 1,500mm	本	2	〃
	電線用 900mm	〃	1	〃
軽腕金用アームタイレスバンド	SABD-19S-DW	個	3	〃
高 圧 耐 張 碍 子	普通形	〃	3	〃
高 圧 ビ ン 碍 子	普通形 大	〃	3	〃
ス テ ー プ ロ ッ ク	2 号 600×300mm	組	1	〃
高 圧 ケ ー ブ ル	6 kV CV 3C 38mm ²	m	15	〃
そ の 他 の 材 料		%	19	〃
高 圧 端 末 処 理	6 kV CV 3C 38mm ² 屋内	組	1	全 損
	〃 屋外	〃	1	〃
接 地 極	900×900×1.5mm	枚	1	〃
接 地 線	IV 14mm ²	m	15	〃
気 中 開 閉 器	地絡保護付 200A	台	1	損料②
簡 易 配 電 盤		面	1	〃
雑 品		%	0.5	

- (注) 1. 簡易配電盤には計器類、トランス、コンデンサ、スイッチ類等の付属品を含む。
2. 気中開閉器は柱上用手動操作型 (地絡保護過電流ロック機構付き) とする。
3. キュービクルは変圧器容量から簡易配電盤の容量を算出する。
4. 避雷器は必要により別途計上する。
5. 「損料①」の材料の損料率は供用日当り 0.0639%とする。
6. その他材料は、根枷用Uバンド等であり「損料①」の材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
7. 雑品は、端子、ビニールテープ、銅線、半田等であり、設置労務費及び「損料②」の材料を除く材料の購入価格の合計額に、上表の率を乗じた金額を計上する。

5. 装柱図例



N0	名 称	形状・規格	単位	備 考
1	コンクリート柱	8 m	本	
2	コンクリート根枷	電力形 (バンド別)	個	
3	軽腕金	引留用 1,500mm	本	
		電線用 900mm	〃	
4	アームタイレスバンド	SABD-19S-DW	個	
5	高圧耐張碍子	普通形	〃	
6	高圧ピン碍子	普通形 大	〃	
7	ステーブロック	2号 600×300mm	組	支線ロッド付
8	高圧ケーブル	6 kV CV 3C 38mm ²	m	
9	高圧端末処理	6 kV CV 3C 38mm ² 屋内	組	
		6 kV CV 3C 38mm ² 屋外	〃	
10	接地極	900×900×1.5mm	枚	
11	接地線	IV 14mm ²	m	
12	気中開閉器	地絡保護付 200A	台	
13	簡易配電盤		面	
14	根枷用Uバンド	1号 A	個	その他材料
15	足場ボルト	4BF	本	〃
16	ストラップ	3×38×280	個	〃
17	耐張碍子引留金具	HIS	〃	〃
18	ケーブル支持金具	CS-AI	〃	〃
19	サドル	US-60	〃	〃
20	自在バンド	IBT-208	〃	〃
		3BD-HD-12	〃	〃
21	支線	亜鉛メッキ鋼より線 55mm ²	kg	〃
22	ワイヤークリップ	55mm ² 用	個	〃
23	玉碍子	100×100	〃	〃
24	硬質ビニル電線管	VE φ54	本	〃
25	支線ロッド		〃	

6. 単価表

高圧引込設備設置・撤去 1箇所当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
コ ン ク リ ー ト 柱	8 m	本		表 4. 1
コ ン ク リ ー ト 根 枷	電力形 (バンド別)	個		〃
軽 腕 金	900mm	本		〃
	1,500mm	〃		〃
アームタイレスバンド	SABD-19S-DW	個		〃
高 圧 耐 張 碍 子	普通形	〃		〃
高 圧 ピ ン 碍 子	普通形 大	〃		〃
ス テ ー ブ ロ ッ ク	2 号 600×300mm	組		〃
高 圧 ケ ー ブ ル	6 kV CV 3C 38mm ²	m		〃
そ の 他 材 料		式	1	〃
高 圧 気 中 開 閉 器	地絡保護付 200A	供用日		〃
簡 易 配 電 盤		〃		〃
端 末 処 理 材 料 (6 k V 屋 内 用)	6CI3 3C 断面積 38mm ²	組		〃
端 末 処 理 材 料 (6 k V 屋 外 用)	6CI3 3C 断面積 38mm ²	〃		〃
接 地 極	900×900×1.5mm	枚		〃
接 地 線	IV 14mm ²	m		〃
電 工		人		表 3. 1
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 品		式	1	表 4. 1
計				

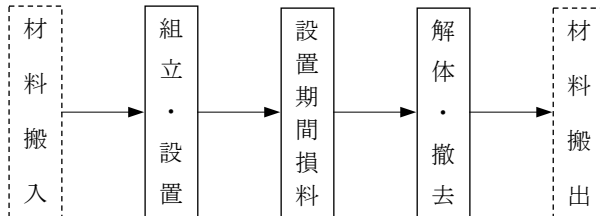
2-6-1 低圧引込設備設置・撤去

1. 適用範囲

工事用受電設備の責任分界柱及び引込ケーブル布設又は撤去に適用する。
低圧受電は 50kW 未満とする。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 労務歩掛

表 3. 1 設置歩掛

(1 箇所当たり)

工 種	規 格	電工	普作	摘 要
建 柱 工	コンクリート柱 7 m	0.90	1.50	
漏 電 し や 断 器	3 P 225A	1.04	—	分電盤取付を含む。
支 線 工	ステーブロック 2 号	0.60	0.70	
計		2.54	2.20	

(注) 撤去歩掛は「設置歩掛」の 50%を計上する。(小数点以下第 3 位四捨五入 2 位止)

4. 使用材料

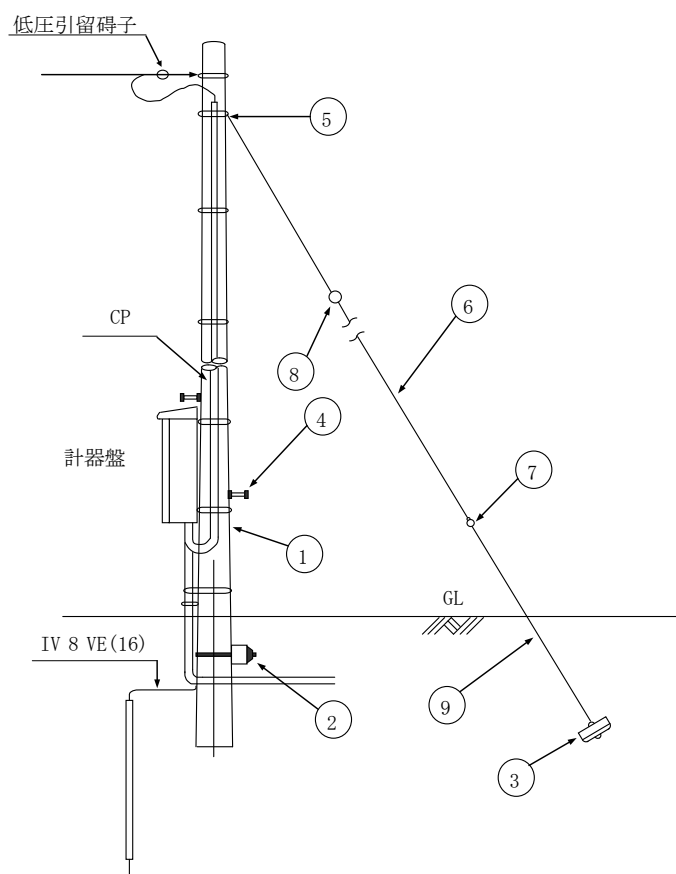
表 4. 1 使用材料

(1 箇所当たり)

名 称	形状・規格	単位	数量	摘 要
コンクリート柱	7 m	本	1	損 料
コンクリート根枷	A 形 (バンド付)	個	1	〃
ステーブロック	2 号 600×300mm	組	1	〃
漏 電 し や 断 器	3 P 225 A	個	1	〃
屋 外 スイッチボックス	O-200 240×420×170	〃	1	〃
そ の 他 材 料		%	10	〃
雑 品		〃	0.5	

- (注) 1. 布設ケーブルのトラフ布設・撤去、電線管布設は別途計上する。
 2. 屋外スイッチボックスの D 種接地は別途計上する。
 3. 材料の損料率は供用日当り 0.0639%とする。
 4. その他材料は、足場ボルト等であり材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
 5. 雑品は、端子、ビニールテープ、銅線、半田等であり、設置労務費及び全ての材料の購入価格の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。

5. 装柱図例



NO	名 称	形状・規格	単位	備 考
1	コンクリート柱	7 m	本	
2	コンクリート根柢	A形 (バンド付)	個	
3	ステーブロック	2号 600×300mm	組	支線ロッド付
4	足場ボルト	4BF	本	その他材料
5	自在バンド	3BD-C12	個	〃
6	支線	亜鉛メッキ鋼より線 55mm ²	kg	〃
7	ワイヤークリップ	55mm ² 用	個	〃
8	玉碍子	100×100	〃	〃
9	支線ロッド		本	

6. 単価表

低圧引込設備設置・撤去 1箇所当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
コンクリート柱	7 m	本		表 4. 1
コンクリート根柢	A形 (バンド付)	個		〃
ステーブロック	2号 600×300mm	組		〃
漏電しゃ断器	3P 225A	個		〃
屋外スイッチボックス	O-200 240×420×170	〃		〃
その他材料		式	1	〃
電 工		人		表 3. 1
普通作業員		〃		〃
雑 品		式	1	表 4. 1
計				

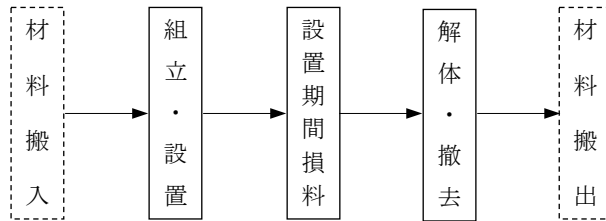
3-1-1 避雷器設備設置・撤去

1. 適用範囲

工事用受電設備（高圧引込設備）の避雷器設置・撤去に適用する。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 労務歩掛

表 3. 1 設置歩掛

（1箇所当り）

工 種	単位	電 工	普通作業員	摘 要
避 雷 器 設 備	人	1.46	0.75	

（注） 撤去歩掛は「設置歩掛」の 50%を計上する。（小数点以下第3位四捨五入2位止）

4. 使用材料

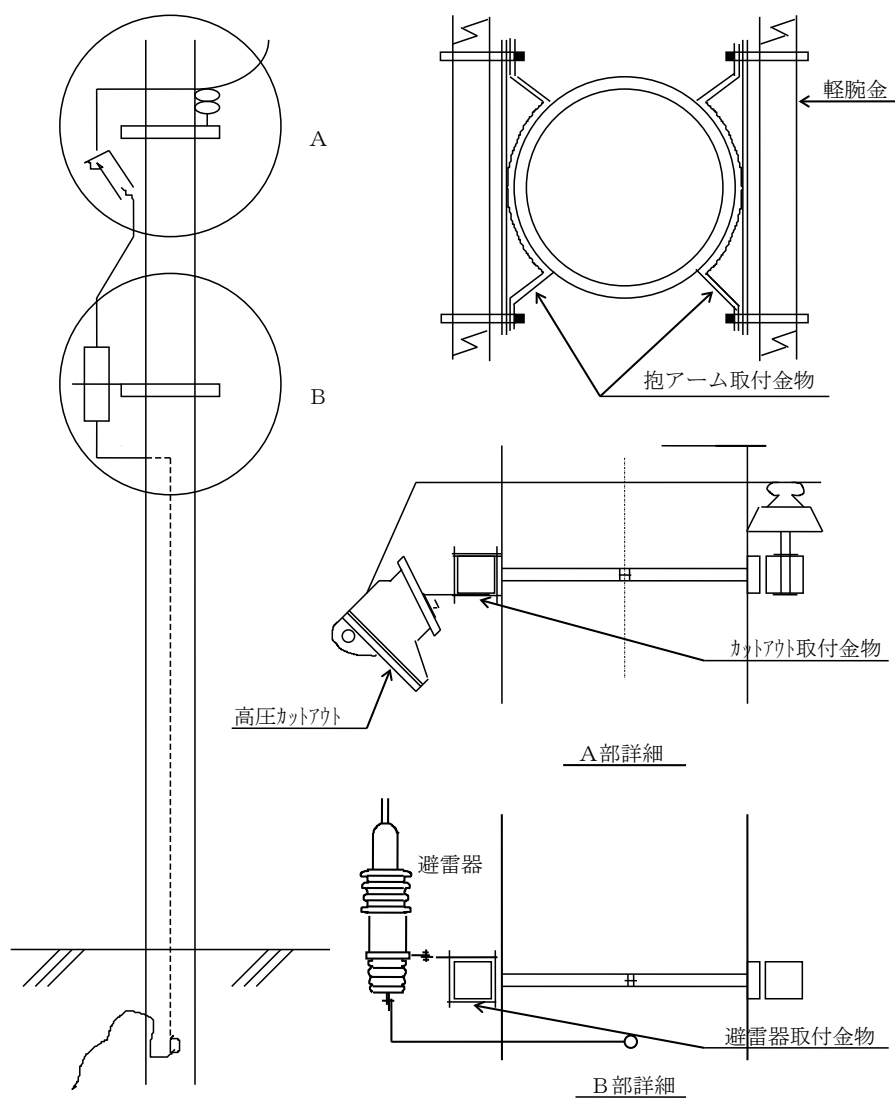
表 4. 1 使用材料

（1箇所当り）

名 称	形状・規格	単位	数量	摘 要
避 雷 器	8.4kV	個	3	損 料
高圧カットアウト	7.2kV 30A PC-6	〃	3	〃
軽 腕 金	電線用 1,500mm	本	2	〃
高 圧 ビ ン 碍 子	普通形 大	個	3	〃
接 地 線	IV 14mm ²	m	18	〃
雑 品		%	0.5	

- （注） 1. A種接地は別途計上する。
 2. 接地測定ボックス以降の接地線については別途計上する。
 3. 材料の損料率は供用日当り 0.0639%とする。
 4. 雑品は、端子、ビニールテープ、銅線、半田等であり、設置労務費及び全ての材料の購入価格の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。

5. 装柱図例



6. 単価表

避雷器設備設置・撤去 1箇所当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
避 雷 器	8.4kV	個		表 4. 1
高 圧 カ ャ ッ ト ア ウ ト	7.2kV 30A PC-6	〃		〃
軽 腕 金	電線用 1500mm	本		〃
高 圧 ピ ン 碍 子	普通形 大	個		〃
接 地 線	IV 14mm ²	m		〃
電 工		人		表 3. 1
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 品		式	1	表 4. 1
計				

3-2-1 接地極設置・撤去

1. 適用範囲

接地極の設置又は撤去到適用する。

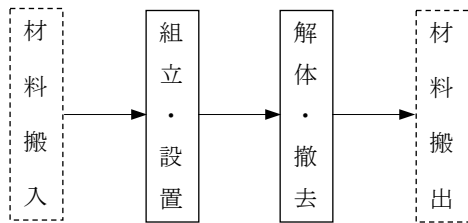
A種、B種及びC種は1㎡以下の銅板等を使用した接地極に適用する。また、D種は1.5m程度までの接地棒を使用した設置に適用する。

本歩掛の接地線の範囲は、地中埋設部分のみであり、ハンドホール等から屋内側等については、別途電線管布設を計上する。

ハンドホール等から接地極までの掘削埋戻は、別途計上する。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 施工歩掛

3-1 接地極

表 3. 1 接地極設置・撤去

(1箇所当り)

名 称		単位	A種	B種	C種	D種	補助接地棒	摘 要
労務	新設電工	人	1.00	1.00	1.00	0.25	0.25	配線労務は含まない。
	普通作業員	〃	2.00	2.00	2.00	0.35	0.35	
	撤去電工	〃	0.20	0.20	0.20	0.05	0.05	
	普通作業員	〃	0.40	0.40	0.40	0.07	0.07	
材料	接地極	枚(本)	1					
雑品		%	0.50					

- (注) 1. 本歩掛は、床掘、埋戻及び接地抵抗の測定を含む。
2. A種、B種及びC種において、床掘及び埋戻を伴わない場合は、電工のみ計上(1.00人/枚)する。
3. D種及び補助接地棒において、床掘及び埋戻を伴わない場合は、電工のみ計上(0.25人/本)する。
4. 雑品は、端子、ビニールテープ、銅線、半田等であり、設置労務費及び材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。

3-2 接地線

表 3. 2 接地線設置・撤去

(1m当り)

接地線名称	接地線規格	設置(電工)	撤去(電工)
IV線	5.5mm ²	0.012	0.002
	8mm ²	0.023	0.005
	14mm ²	0.023	0.005
	22mm ²	0.023	0.005
	38mm ²	0.055	0.011
	60mm ²	0.055	0.011
	100mm ²	0.055	0.011

4. 使用材料

4-1 接地極

表 4. 1 接地極

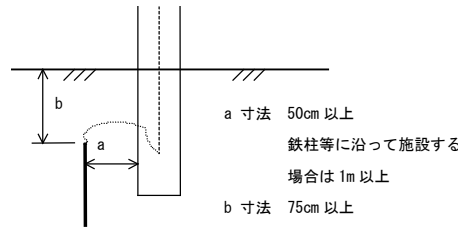
接地極	規 格	摘 要
A種接地	900×900×1.5	全 損
B種接地		
C種接地		
D種接地	φ 10×1,500	〃
補助接地棒		

4-2 接地線

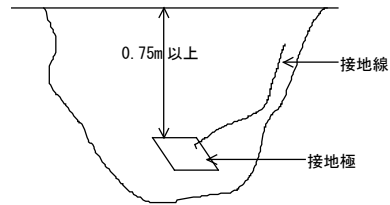
表 4. 2 接地線

接地線	規 格	摘 要
IV 線	5.5mm ²	全 損
	8 mm ²	〃
	14mm ²	〃
	22mm ²	〃
	38mm ²	〃
	60mm ²	〃
	100mm ²	〃

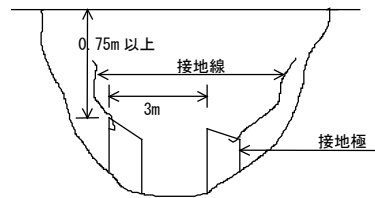
5. 施工図例



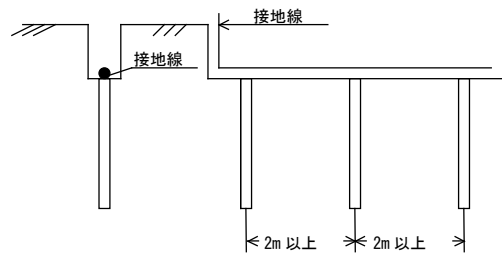
引込柱部施工例



接地板水平埋設例



接地板型垂直埋設例



補助接地棒の打込例

- 注) 1. 2 つ以上の極を作る場合は極板どうしを 3m 以上離す。
2. 接地極板が 2 枚以上埋設の場合は垂直埋設方式とする。

6. 単価表

接地極設置・撤去 1 極当り単価表

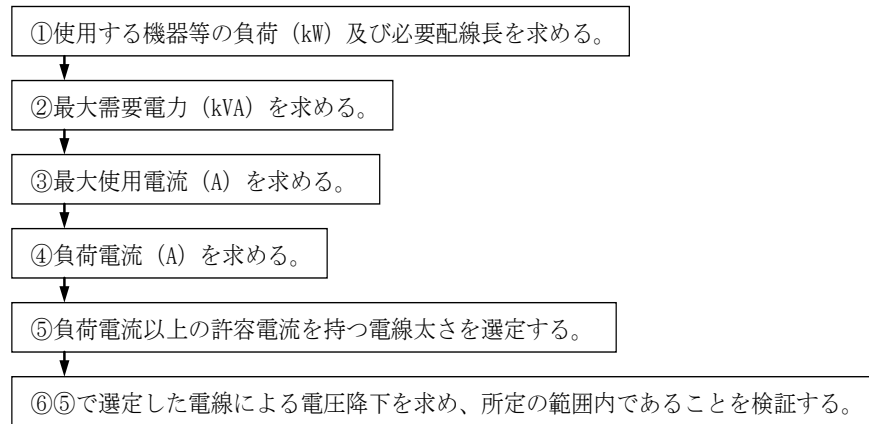
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
接 地 極	900×900×1.5	枚		表 4. 1
補 助 接 地 棒	φ 10×1,500	本		
接 地 線	I V 線	m		表 4. 2
電 工		人		表 3. 1
普 通 作 業 員		〃		〃
電 工		〃		表 3. 2
雑 品		式	1	表 3. 1
計				

(注) 接地線の数量は、接地線の地中埋設区間長 (m) とする。

3-3-1 配電線の選定

「3-3-2から3-3-7」により一定条件での配電線を選定し、下記に基づき電線規格の検証を行うものとする。

図 1. 1 配電線選定のフロー図



注 1) 使用する機器の負荷及び必要配線長

設計業務等においてあらかじめ作成した仮設電気設備計画による。

注 2) 最大需要電力

最大需要電力は次の式により求めることができる。

$$\text{最大需要電力 (kVA)} = \Sigma \text{各機器の定格出力 (kW)} \times \text{需要率 (\%)} / (\text{効率 (\%)} \times \text{力率 (\%)})$$

① 定格出力 (kW) 及び効率 (%) はカタログデータ等による。

② 力率は、配電線計画における数値を用いるものとする。

③ 需要率は、各機器の負荷を合計した設備容量に対する最大需要電力の割合を表すものであり、機器の配置台数や断続的な使用等により異なる。需要率を定めるにあたっては、仮設電気設備計画における受電設備容量設計において検討するものとする。

④ 照明等の単相負荷設備においては、効率、力率及び需要率は 1.0 とする。

注 3) 最大使用電流

最大使用電流は次の式により求めることができる。

$$\text{最大使用電流 (A)} = (\text{最大需要電力 (kVA)} \times 1,000) / (\kappa \omega \times \text{使用電圧 (V)})$$

① $\kappa \omega$ は電気配線方式による係数で、単相 2 線式：2、単相 3 線式：1、三相 3 線式： $\sqrt{3}$ を用いる。

注 4) 負荷電流

電線太さを選定する場合の負荷電流は、最大使用電流に対し余裕を見込むものとする。

$$\text{負荷電流 (A)} = \text{最大使用電流 (A)} \times \text{割増係数}$$

① 割増係数は、最大使用電流が 50A 以下の場合：1.25、50A を超える場合：1.1 を用いる。

注 5) 許容電流

電線種別、電線径により異なる。詳細は「電線要覧」一般社団法人日本電線工業会（旧：（社）日本電線工業会）、または電線製造メーカーの規格表による。

注 6) 電圧降下

電圧降下は次の式により求めることができる。

$$\text{電圧降下 (V)} = (\text{配線方式係数} \times \text{配線長 (m)} \times \text{最大使用電流 (A)}) / (1,000 \times \text{電線断面積 (mm}^2))$$

① 配線方式係数は、単相 2 線式：35.6、単相 3 線式：17.8、三相 3 線式：30.8 を用いる。

【配電線の選定（計算例）】

計算例 1

配 線 種 別		3 心ケーブル (200V) 力率 0.9 電圧降下 10%	
配 線 長			170 (m)
負 荷 合 計		22kW+30kW	52 (kW)
最 大 需 要 電 力	式・解	$(52 \times 0.9) / (0.88 \times 0.9)$	59.1 (kVA)
	(需要率)	90%	
	(効 率)	88%	
	(力 率)	90%	
最 大 使 用 電 流	式・解	$(59.1 \times 1,000) / (\sqrt{3} \times 210)$	162.5 (A)
負 荷 電 流	式・解	162.5×1.1	178.8 (A)
想 定 配 線 規 格			60mm ²
許 容 電 流			190 (A)
電 圧 降 下	式・解	$(30.8 \times 170 \times 162.5) / (1,000 \times 60)$	14.2 (V)
電 圧 降 下 率	式・解	$(14.2 / 210) \times 100$	6.8 (%)
決 定 配 線 規 格		60mm ²	判定 O K

計算例 2

配 線 種 別		三相 3 線式 (6,000V) 力率 0.9 電圧降下 10%	
配 線 長			3,600 (m)
負 荷 合 計			1,600 (kW)
最 大 需 要 電 力	式・解	$(1,600 \times 0.8) / (0.85 \times 0.9)$	1,673.2 (kVA)
	(需要率)	80%	
	(効 率)	85%	
	(力 率)	90%	
最 大 使 用 電 流	式・解	$(1,673.2 \times 1,000) / (\sqrt{3} \times 6,000)$	146.4 (A)
負 荷 電 流	式・解	146.4×1.1	161.0 (A)
想 定 配 線 規 格			38mm ²
許 容 電 流			162 (A)
電 圧 降 下	式・解	$(30.8 \times 3,600 \times 146.4) / (1,000 \times 38)$	427.2 (V)
電 圧 降 下 率	式・解	$(427.2 / 6,000) \times 100$	6.5 (%)
決 定 配 線 規 格		38mm ²	判定 O K

3-3-2 三相3線式（高圧）

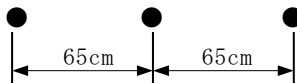
力率 0.9 電圧降下 10%

電線規格	6,000V				3,000V			
	50Hz		60Hz		50Hz		60Hz	
	L (m)	Y (kW)	L (m)	Y (kW)	L (m)	Y (kW)	L (m)	Y (kW)
5.0mm	3,223.7	1,000.8	3,120.9	1,000.8	1,611.9	500.4	1,560.4	500.4
22mm ²	3,258.0	1,075.6	3,148.7	1,075.6	1,629.0	537.8	1,574.4	537.8
38mm ²	3,533.9	1,515.2	3,363.5	1,515.2	1,767.0	757.6	1,681.8	757.6
60mm ²	3,728.2	2,029.6	3,489.5	2,029.6	1,864.1	1,014.8	1,744.7	1,014.8
100mm ²	3,801.4	2,787.2	3,484.0	2,787.2	1,900.7	1,393.6	1,742.0	1,393.6
125mm ²	3,702.5	3,236.2	3,363.5	3,236.2	1,851.3	1,618.1	1,681.7	1,618.1
150mm ²	3,602.9	3,694.5	3,246.5	3,694.5	1,801.5	1,847.2	1,623.3	1,847.2
200mm ²	3,424.7	4,386.6	3,056.1	4,386.6	1,712.4	2,193.3	1,528.0	2,193.3

Y : 適用容量 (kW) の限度

L : 配線長 (m)

- (注) 1. 配線はがいし引き配線
2. 配線配置は下図に示す。



3-3-3 三相3線式（低圧）

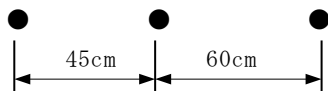
力率 0.9 電圧降下 10%

電線規格	400V				200V			
	50Hz		60Hz		50Hz		60Hz	
	L (m)	Y (kW)	L (m)	Y (kW)	L (m)	Y (kW)	L (m)	Y (kW)
2.0mm	121.5	21.8	120.7	21.8	60.7	10.9	60.3	10.9
2.6mm	146.6	29.9	145.0	29.9	73.3	15.0	72.5	15.0
3.2mm	167.5	38.7	165.0	38.7	83.8	19.3	82.5	19.3
4.0mm	192.7	50.5	188.5	50.5	96.4	25.3	94.2	25.3
5.0mm	216.2	66.7	209.5	66.7	108.1	33.4	104.8	33.4
14mm ²	190.8	54.9	186.4	54.9	95.4	27.4	93.2	27.4
22mm ²	218.6	71.7	211.5	71.7	109.3	35.9	105.8	35.9
38mm ²	238.0	101.0	226.8	101.0	119.0	50.5	113.4	50.5
60mm ²	252.1	135.3	236.4	135.3	126.1	67.7	118.2	67.7
100mm ²	258.5	185.8	237.4	185.8	129.3	92.9	118.7	92.9
125mm ²	252.5	215.7	229.8	215.7	126.2	107.9	114.9	107.9
150mm ²	247.4	246.3	223.3	246.3	123.7	123.1	111.7	123.1
200mm ²	234.9	292.4	210.0	292.4	117.4	146.2	105.0	146.2

Y : 適用容量 (kW) の限度

L : 配線長 (m)

- (注) 1. 配線はがいし引き配線
2. 配線配置は下図に示す。



3-3-4 単相3線式・単相2線式（低圧）

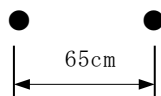
力率 1.0 電圧降下 5 %

電線規格	単相3線式（200V）		単相2線式（100V）	
	50Hz・60Hz		50Hz・60Hz	
	L（m）	Y（kW）	L（m）	Y（kW）
2.0mm	49.0	7.0	12.3	7.0
2.6mm	60.4	9.6	15.1	9.6
3.2mm	70.7	12.4	17.7	12.4
4.0mm	84.6	16.2	21.1	16.2
5.0mm	100.3	21.4	25.1	21.4
14mm ²	84.2	17.6	21.0	17.6
22mm ²	102.4	23.0	25.6	23.0
38mm ²	123.0	32.4	30.7	32.4
60mm ²	147.2	43.4	36.8	43.4
100mm ²	181.4	59.6	45.3	59.6
125mm ²	194.0	69.2	48.5	69.2
150mm ²	209.2	79.0	52.3	79.0
200mm ²	224.2	93.8	56.1	93.8

Y：適用容量（kW）の限度

L：配線長（m）

- （注） 1. 配線はがいし引き配線
2. 配線配置は下図に示す



3-3-5 3心ケーブル（高圧）

力率 0.9 電圧降下 10 %

電線規格	6,000V				3,000V			
	50Hz		60Hz		50Hz		60Hz	
	L（m）	Y（kW）	L（m）	Y（kW）	L（m）	Y（kW）	L（m）	Y（kW）
8mm ²	2,051.1	570.5	2,042.4	570.5	1,029.3	285.3	1,025.5	285.3
14mm ²	2,617.0	776.3	2,599.3	776.3	1,316.1	388.2	1,308.5	388.2
22mm ²	3,222.2	982.1	3,191.0	982.1	1,624.3	491.0	1,610.4	491.0
38mm ²	3,910.6	1,356.2	3,852.9	1,356.2	1,979.3	678.1	1,951.0	678.1
60mm ²	4,426.5	1,823.8	4,332.4	1,823.8	2,238.8	911.9	2,194.2	911.9
100mm ²	5,109.2	2,478.6	4,953.1	2,478.6	2,593.5	1,239.3	2,509.4	1,239.3
125mm ²	5,526.8	3,226.8	5,279.0	3,226.8	2,815.4	1,613.4	2,695.7	1,613.4
150mm ²	5,744.4	3,834.8	5,462.7	3,834.8	2,930.4	1,917.4	2,793.5	1,917.4
200mm ²	5,876.2	4,395.9	5,522.1	4,395.9	2,998.4	2,198.0	2,819.8	2,198.0
325mm ²	6,009.3	5,144.2	5,580.6	5,144.2	3,069.5	2,572.1	2,852.8	2,572.1

Y：適用容量（kW）の限度

L：配線長（m）

- （注） 1. 布設は暗渠布設
2. ケーブル導体形状は円形圧縮断面

3-3-6 3心ケーブル（低圧）

力率 0.9 電圧降下 10%

電線規格	200V			
	50Hz		60Hz	
	L (m)	Y (kW)	L (m)	Y (kW)
2.0mm ²	46.3	7.2	46.3	7.2
3.5mm ²	57.1	10.3	57.1	10.3
5.5mm ²	66.5	13.7	66.4	13.7
8mm ²	77.8	16.8	77.6	16.8
14mm ²	96.5	23.7	96.0	23.7
22mm ²	114.6	31.2	113.8	31.2
38mm ²	138.2	43.6	136.4	43.6
60mm ²	155.5	59.2	152.9	59.2
100mm ²	178.4	81.1	173.0	81.1
150mm ²	192.4	106.0	185.5	106.0
200mm ²	198.5	127.8	188.5	127.8
250mm ²	202.9	146.5	191.3	146.5
325mm ²	206.0	173.0	191.8	173.0

Y : 適用容量 (kW) の限度

L : 配線長 (m)

- (注) 1. 布設は暗渠布設
 2. ケーブル導体形状は 8 mm² 以上を円形圧縮断面

3-3-7 3心ケーブル・2心ケーブル（低圧）

力率 1.0 電圧降下 5%

電線規格	3心ケーブル (200V)		3心ケーブル (100V)		2心ケーブル (100V)	
	50Hz・60Hz		50Hz・60Hz		50Hz・60Hz	
	L (m)	Y (kW)	L (m)	Y (kW)	L (m)	Y (kW)
2.0mm ²	36.2	4.6	18.1	2.3	7.4	5.6
3.5mm ²	44.8	6.6	22.4	3.3	9.5	7.8
5.5mm ²	52.4	8.8	26.2	4.4	11.1	10.4
8mm ²	61.5	10.8	30.8	5.4	12.8	13.0
14mm ²	76.9	15.2	38.5	7.6	16.1	18.2
22mm ²	92.6	20.0	46.3	10.0	19.3	24.0
38mm ²	114.1	28.0	57.1	14.0	23.5	34.0
60mm ²	132.6	38.0	66.3	19.0	28.0	45.0
100mm ²	160.9	52.0	80.5	26.0	33.7	62.0
150mm ²	183.8	68.0	91.9	34.0	39.1	80.0
200mm ²	201.6	82.0	100.8	41.0	42.6	97.0
250mm ²	215.8	94.0	107.9	47.0	45.3	112.0
325mm ²	233.7	111.0	116.8	55.5	49.1	132.0

Y : 適用容量 (kW) の限度

L : 配線長 (m)

- (注) 1. 布設は暗渠布設
 2. ケーブル導体形状は 8 mm² 以上を円形圧縮断面

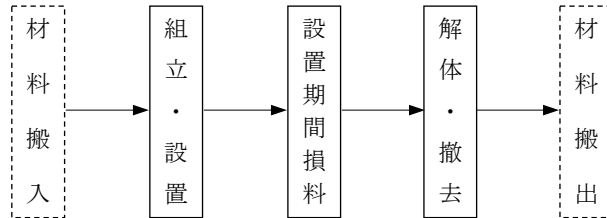
4-1-1 高低圧建柱工

1. 適用範囲

工用配電設備の高低圧架空線建柱設置又は撤去に適用する。
電柱の間隔は、50mを標準とする。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 施工歩掛

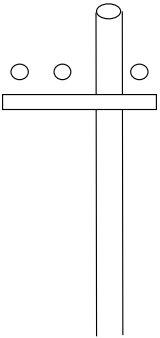
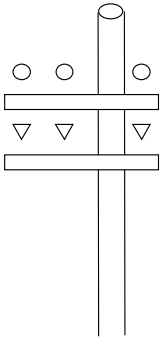
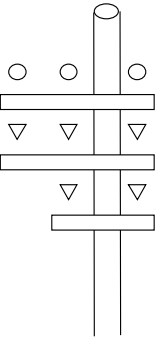
表 3. 1 高低圧建柱設置歩掛

(500m当り)

名 称		規 格	単位	高圧 3 線式 1 回線目	高圧 3 線式 1 回線目 低圧 3 線式 2 回線目	高圧 3 線式 1 回線目 低圧 3 線式 2 回線目 低圧 2 線式 3 回線目	摘 要
労務	電 工		人	15.00	18.85	24.60	
	普通作業員		〃	23.90	25.00	31.10	
材 料	コンクリート柱	9 m	本	—	—	10	損 料
		8 m	〃	10	10	—	〃
	コンクリート根枷	A形(バンド付)	個	16			〃
	軽 腕 金	1,800mm	本	11			〃
		1,500mm	〃	—	11	11	〃
		900mm	〃	—	—	11	〃
	高 圧 ピ ン 碇 子	普通形 大	個	28			〃
	高 圧 耐 張 碇 子	普通形	〃	6			〃
	低 圧 ピ ン 碇 子	大 立ピン	〃	—	28	46	〃
	低 圧 引 留 碇 子	75×65	〃	—	6	10	〃
	垂 鉛 引 鋼 より 線	38mm ²	kg	17.64			〃
	支 線 ロ ッ ト	φ 13×2,500mm	個	6			〃
	そ の 他 材 料		%	9	11	10	〃
雑	品		〃	0.5			

- (注) 1. 本歩掛は電線の材料及び労務は含まない。
 2. 材料の損料率は供用日当り 0.0639%とする。
 3. その他材料は、アームタイ等であり、材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
 4. 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び全ての材料の購入価格の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
 5. 撤去歩掛は「設置労務」の 50%を計上する。(小数点以下第 3 位四捨五入 2 位止)

4. 装柱図例

回 線		1 回 線	2 回 線	3 回 線
略 図				
線 式	1 回線目	高圧 3 線式	高圧 3 線式	高圧 3 線式
	2 回線目	—	低圧 3 線式	低圧 3 線式
	3 回線目	—	—	低圧 2 線式

5. 単価表

高低圧建柱設置・撤去 500m 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
コンクリート柱		本		表 3. 1
コンクリート根柵	A 形 (バンド付)	個		〃
軽 腕 金	1, 800mm	本		〃
〃	1, 500mm	〃		〃
〃	900mm	〃		〃
高 圧 ピ ン 碍 子	普通形 大	個		〃
高 圧 耐 張 碍 子	普通形	〃		〃
低 圧 ピ ン 碍 子	大 立ピン	〃		〃
低 圧 引 留 碍 子	75×65	〃		〃
亜鉛引鋼より線	38mm ²	kg		〃
支 線 ロ ッ ト	φ 13×2, 500mm	個		〃
そ の 他 材 料		式	1	〃
電 工		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 品		式	1	〃
計				

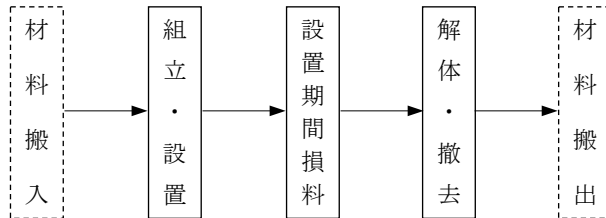
4-1-2 低圧建柱工

1. 適用範囲

工事用配電設備の低圧架空線のコンクリート柱の設置又は撤去に適用する。
電柱の間隔は50mを標準とする。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 施工歩掛

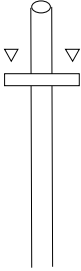
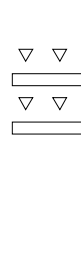
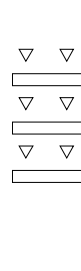
表 3. 1 低圧建柱設置歩掛

(500m当り)

名 称		規 格	単 位	低圧2線式 1回線目	低圧3線式 1回線目	低圧3線式 1回線目 低圧2線式 2回線目	低圧3線式 1回線目 低圧3線式 2回線目	低圧3線式 1回線目 低圧3線式 2回線目 低圧3線式 3回線目	摘 要
労務	電 工		人	12.00	12.00	17.75	18.85	22.70	
	普通作業員		〃	18.90	18.90	25.00	25.00	26.10	
材 料	コンクリート柱	8 m	本	—	—	10	10	10	損 料
		7 m	〃	10	10	—	—	—	〃
	コンクリート根枷	A形(バンド付)	個	16					〃
	軽 腕 金	1,500mm	本	—	11	11	22	33	〃
		900mm	〃	11	—	11	—	—	〃
	低 圧 ピ ン 碍 子	大 立ピン	個	18	28	46	56	84	〃
	低 圧 引 留 碍 子	75×65	〃	4	6	10	12	18	〃
	亜鉛引鋼より線	38mm ²	kg	17.64					〃
	支 線 ロ ッ ト	φ13×2,500mm	個	6					〃
	そ の 他 材 料		%	8	8	9	9	10	〃
	雑 品		〃	0.5					

- (注) 1. 材料の損料率は供用日当り0.0639%とする。
 2. その他材料は、アームタイ等の費用であり、材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
 3. 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び全ての材料の購入価格の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
 4. 撤去歩掛は「設置労務」の50%を計上する。(小数点以下第3位四捨五入2位止)

4. 施工図

回 線		1 回 線		2 回 線		3 回 線
略 図						
線 式	1 回線目	低圧 2 線式	低圧 3 線式	低圧 3 線式	低圧 3 線式	低圧 3 線式
	2 回線目	—	—	低圧 2 線式	低圧 3 線式	低圧 3 線式
	3 回線目	—	—	—	—	低圧 3 線式

5. 単価表

低圧建柱設置・撤去 500m 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
コンクリート柱		本		表 3. 1
コンクリート根柵	A 形 (バンド付)	個		〃
軽 腕 金	1, 500mm	本		〃
〃	900mm	〃		〃
低 圧 ピ ン 碍 子	大 立ピン	個		〃
低 圧 引 留 碍 子	75×65	〃		〃
垂 鉛 引 鋼 より 線	38mm ²	kg		〃
支 線 ロ ッ ト	φ 13×2, 500mm	個		〃
そ の 他 材 料		式	1	〃
電 工		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 品		式	1	〃
計				

4-1-3 高圧配線工

1. 適用範囲

工用配電設備の高圧架空線（高圧3線式）設置又は撤去に適用する。

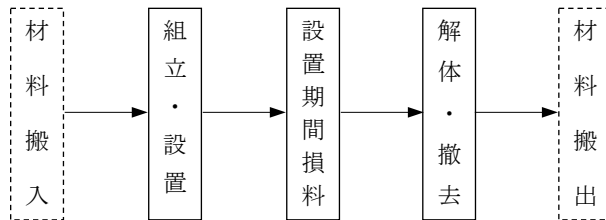
電線規格 2.0～5mm、14～60mm²、OC（高圧）

本歩掛は、高圧架空線の配線材料及び労務を含み、装柱材料及び労務は含まない。

電線の間隔は50mを標準とする。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 施工歩掛

表 3. 1 高圧配線設置歩掛

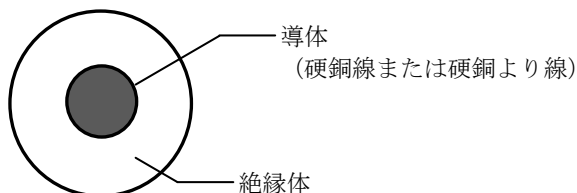
(500m当り)

名 称			単位	電 線 規 格 (適用仕上り外径)			摘 要
				5.0mm まで (10mm 以下)	38mm ² まで (15mm 以下)	60mm ² まで (15mm 以下)	
高 圧 3 線 式	労務	電 工	人	24.00	36.00	36.00	
	材料	電 線 (OC)	m	1,545			損 料
		雑 品	%	0.5			

- （注）1. 電線数量は、水平長に対して平均3%の弛みが見込まれている。
 2. 材料の損料率は供用日当り0.0639%とする。
 3. 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び材料の購入価格の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
 4. 撤去歩掛は「設置労務」の50%を計上する。（小数点以下第3位四捨五入2位止）

4. 施工図

OC電線断面図



OC [屋外用架橋ポリエチレン絶縁電線]

5. 単価表

高圧配線設置・撤去 500m当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
電 線	〇 C	m		表 3. 1
電 工		人		〃
雑 品		式	1	〃
計				

4-1-4 低圧配線工

1. 適用範囲

工事前配電設備の低圧架空線（低圧2線式、低圧3線式）設置又は撤去に適用する。

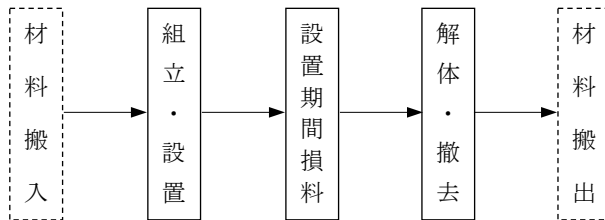
電線規格 2.0～5mm、14～60mm²、OW（低圧）

本歩掛は、低圧架空線の配線材料及び労務を含み、装柱材料及び労務は含まない。

電線の間隔は50mを標準とする。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 施工歩掛

表 3. 1 低圧配線設置歩掛

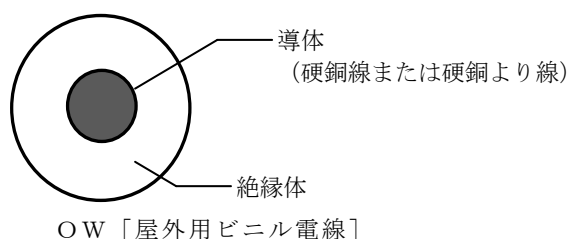
(500m当り)

名 称			単位	電 線 規 格 (適用仕上り外径)				摘 要
				3.2mm まで (5mm 以下)	5.0mm 又は 14mm ² まで (10mm 以下)	38mm ² まで (15mm 以下)	60mm ² まで (15mm 以下)	
低 圧 2 線 式	労務	電 工	人	8.00	16.00	24.00	24.00	
	材料	電 線 (OW)	m	1,030				損 料
		雑 品	%	0.5				
低 圧 3 線 式	労務	電 工	人	12.00	24.00	36.00	36.00	
	材料	電 線 (OW)	m	1,545				損 料
		雑 品	%	0.5				

- （注） 1. 電線数量は、水平長に対して平均3%の弛みが見込まれている。
 2. 材料の損料率は供用日当り0.0639%とする。
 3. 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び材料の購入価格の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
 4. 撤去歩掛は「設置労務」の50%を計上する。（小数点以下第3位四捨五入2位止）

4. 施工図

OW電線断面図



5. 単価表

低圧配線設置・撤去 500m当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
電 線	〇 W	m		表 3. 1
電 工		人		〃
雑 品		式	1	〃
計				

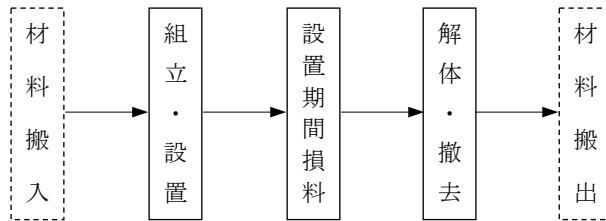
4-2-1 高圧ケーブル3心（トラフ内）

1. 適用範囲

工事用配電設備の3kV、6kV高圧ケーブルの設置又は撤去に適用する。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 施工歩掛

表 3. 1 高圧ケーブル（3心）設置歩掛

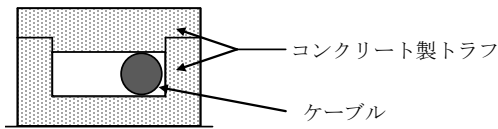
（100m当り）

名 称			単位	ケーブル規格 mm ² (適用仕上り外径) 6kV (適用仕上り外径) 3kV							摘要
				8 (40mm 以下) (40mm 以下)	14 (40mm 以下) (40mm 以下)	22 (40mm 以下) (40mm 以下)	38 (50mm 以下) (40mm 以下)	60 (50mm 以下) (50mm 以下)	100 (60mm 以下) (50mm 以下)	150 (60mm 以下) (60mm 以下)	
6 kV	労務	電 工	人	6.70	6.70	6.70	10.50	10.50	17.30	17.30	
		普通作業員	〃	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	
	材料	6kV ケーブル (CV)	m	100							損料
		トラフ (500mm/組)	組	200							〃
		雑 品	%	0.5							
3 kV	労務	電 工	人	6.70	6.70	6.70	6.70	10.50	10.50	17.30	
		普通作業員	〃	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	
	材料	3kV ケーブル (CV)	m	100							損料
		トラフ (500mm/組)	組	200							〃
		雑 品	%	0.5							

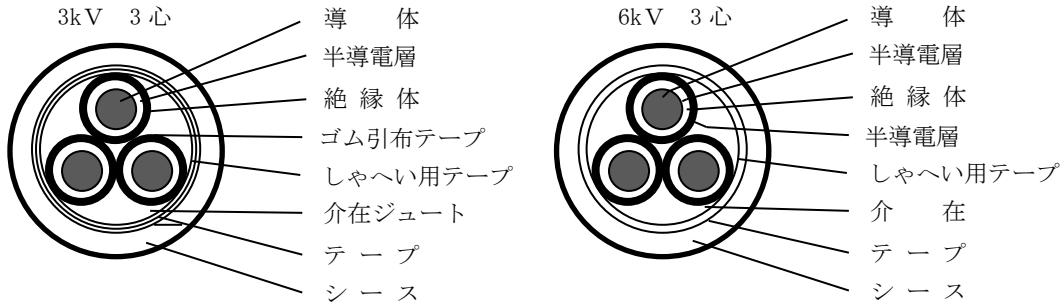
- （注） 1. ケーブルは地上に設置したコンクリート製トラフ内に布設するものとし労務歩掛にはトラフの設置及び撤去を含む。
2. 材料の損料率は供用日当り 0.0639%とする。
3. 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び全ての材料の購入価格の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
4. 撤去歩掛は「設置労務」の 50%を計上する。（小数点以下第 3 位四捨五入 2 位止）
5. 端末処理は別途計上する。

4. 施工図

ケーブル布設図



C Vケーブル断面図



C V [架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル]

5. 単価表

高圧ケーブル（3心）設置・撤去 100m当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ケ ー ブ ル		m		表 3. 1
ト ラ フ		組		〃
電 工		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 品		式	1	〃
計				

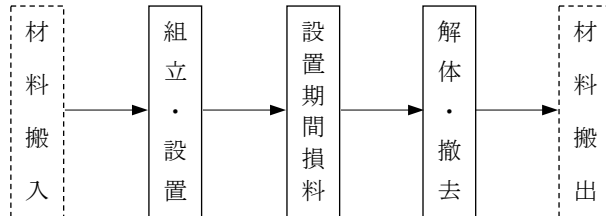
4-2-2 低圧ケーブル3心（トラフ内）

1. 適用範囲

工事用配電設備の三相ケーブルの設置又は撤去に適用する。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 施工歩掛

表 3. 1 低圧ケーブル（3心）設置歩掛

（100m 当り）

名 称	単位	ケ ー ブ ル 規 格 mm ² (適用仕上り外径)												摘 要
		2.0 (20mm以下)	3.5 (20mm以下)	5.5 (20mm以下)	8.0 (20mm以下)	14 (20mm以下)	22 (40mm以下)	38 (40mm以下)	60 (40mm以下)	100 (40mm以下)	150 (50mm以下)	200 (60mm以下)	250 (60mm以下)	
労 務	電 工 人	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	6.70	6.70	6.70	6.70	10.50	17.30	17.30	
	普 通 作 業 員	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	
材 料	600V ケーブル (CV)	100												損料
	ト ラ フ (500mm/組)	200												〃
	雑 品	0.5												

（注） 1. ケーブルは地上に設置したコンクリート製トラフ内に布設するものとし労務歩掛にはトラフの設置及び撤去を含む。

2. 材料の損料率は供用日当り 0.0639%とする。

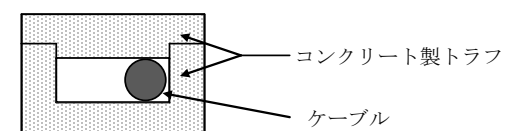
3. 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び全ての材料の購入価格の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。

4. 撤去歩掛は「設置労務」の 50%を計上する。（小数点以下第 3 位四捨五入 2 位止）

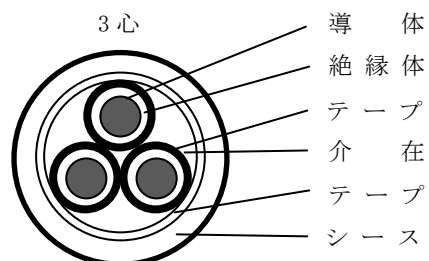
5. 労務歩掛には端末処理を含む。

4. 施工図

ケーブル布設図



C V ケーブル断面図 (600V)



C V [架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル]

5. 単価表

低圧ケーブル（3心）設置・撤去 100m当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ケ ー ブ ル	C V 600V	m		表 3. 1
ト ラ フ		組		〃
電		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 品		式	1	〃
計				

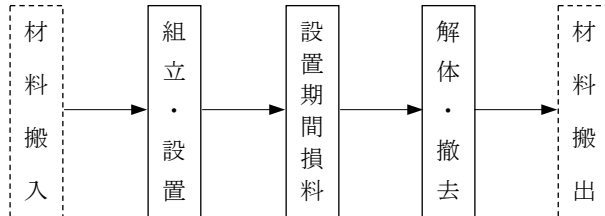
4-2-3 低圧ケーブル2心（トラフ内）

1. 適用範囲

工事用配電設備の単相ケーブルの設置又は撤去に適用する。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 施工歩掛

表 3. 1 低圧ケーブル（2心）設置歩掛

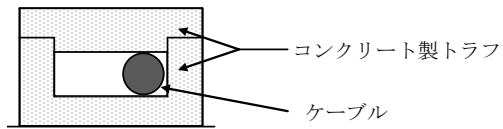
（100m当り）

名 称		単位	ケーブル規格 mm ² (適用仕上り外径)													摘要
			2.0 (20mm 以下)	3.5 (20mm 以下)	5.5 (20mm 以下)	8.0 (20mm 以下)	14 (20mm 以下)	22 (20mm 以下)	38 (40mm 以下)	60 (40mm 以下)	100 (40mm 以下)	150 (50mm 以下)	200 (50mm 以下)	250 (60mm 以下)	325 (60mm 以下)	
労務	電 工 人		3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	6.70	6.70	6.70	10.50	10.50	17.30	17.30	
	普通作業員	〃	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	
材料	600V ケーブル (CV)	m	100													損料
	トラフ (500mm／組)	組	200													〃
	雑 品	%	0.5													

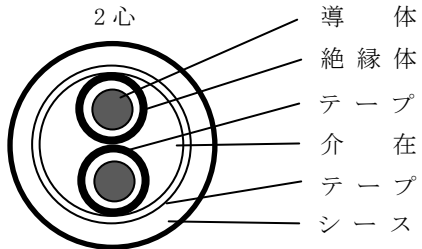
- （注） 1. ケーブルは地上に設置したコンクリート製トラフ内に布設するものとし労務歩掛にはトラフの設置及び撤去を含む。
2. 材料の損料率は供用日当り 0.0639%とする。
3. 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び全ての材料の購入価格の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
4. 撤去歩掛は「設置労務」の 50%を計上する。（小数点以下第3位四捨五入2位止）
5. 労務歩掛には端末処理を含む。

4. 施工図

ケーブル布設図



C V ケーブル断面図 (600V)



C V [架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル]

5. 単価表

低圧ケーブル（2心）設置・撤去 100m当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ケ ー ブ ル	C V 600V	m		表 3. 1
ト ラ フ		組		〃
電 工		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 品		式	1	〃
計				

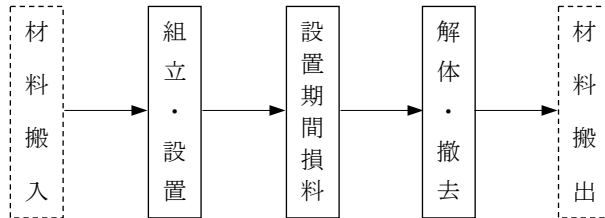
4-3-1 高圧ケーブル3心（地上施設）

1. 適用範囲

工事用配電設備の3kV、6kV高圧ケーブルの設置又は撤去に適用する。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 施工歩掛

表 3. 1 高圧ケーブル（3心）設置歩掛

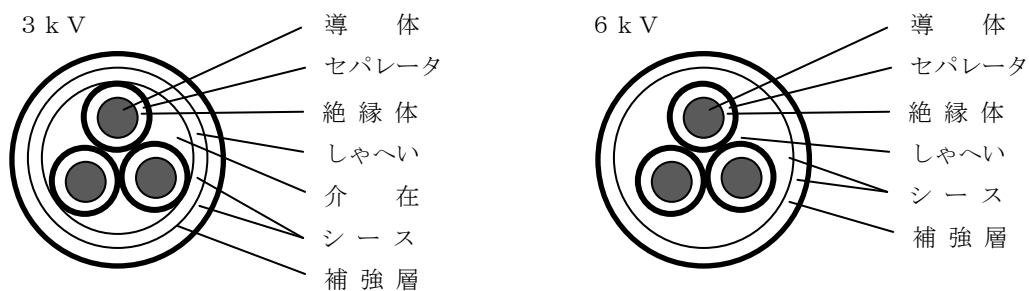
(100m当り)

名 称		単位	ケーブル規格 mm ² (適用仕上り外径) 6kV (適用仕上り外径) 3kV			摘要
			14 (50mm 以下) (50mm 以下)	22 (60mm 以下) (60mm 以下)	38 (60mm 以下) (60mm 以下)	
労務	電 工	人	10.00	16.80	16.80	
材料	6 k V ケーブル (3PNCT)	m	100			損料
	3 k V ケーブル (3PNCT)	〃	100			〃
	雑 品	%	0.5			

- （注） 1. ケーブルは、トラフや電線管は使用せずケーブルのみの地上設置である。
 2. 材料の損料率は供用日当り 0.0639%とする。
 3. 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び材料の購入価格の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
 4. 撤去歩掛は「設置労務」の 50%を計上する。（小数点以下第 3 位四捨五入 2 位止）
 5. 端末処理は別途計上する。
 6. ケーブルを支持する仮設材は別途計上する。

4. 施工図

3PNCTケーブル断面図



3PNCT [3種エチレンプロピレンゴム絶縁クロロプレンキャブタイヤケーブル]

5. 単価表

高圧ケーブル（3心）設置・撤去 100m当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ケ ー ブ ル		m		表 3. 1
電 工		人		〃
雑 品		式	1	〃
計				

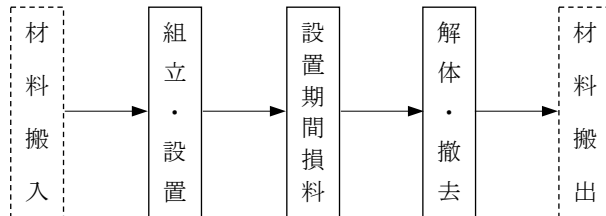
4-3-2 低圧ケーブル3心（地上施設）

1. 適用範囲

工事前配電設備の三相の設置又は撤去に適用する。
三相低圧機械の動力線として使用する。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 施工歩掛

表 3. 1 低圧ケーブル（3心）設置歩掛

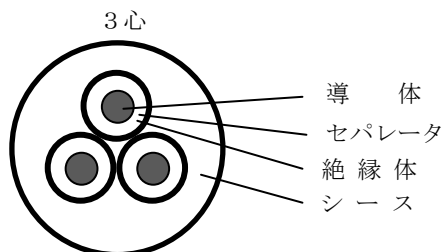
（100m当り）

名 称		単位	ケ ー ブ ル 規 格 mm ² (適用仕上り外径)									摘要
			2.0 (20mm以下)	3.5 (20mm以下)	5.5 (20mm以下)	8.0 (20mm以下)	14 (20mm以下)	22 (40mm以下)	38 (40mm以下)	60 (40mm以下)	100 (50mm以下)	
労務	電 工	人	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30	6.20	6.20	6.20	10.00	
材料	600V ケーブル (2PNCT)	m	100									損料
	雑 品	%	0.5									

- （注） 1. ケーブルは、トラフや電線管は使用せずケーブルのみの地上設置である。
 2. 材料の損料率は供用日当り 0.0639%とする。
 3. 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び材料の購入価格の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
 4. 撤去歩掛は「設置労務」の 50%を計上する。（小数点以下第 3 位四捨五入 2 位止）
 5. 労務歩掛には端末処理を含む。
 6. ケーブルを支持する仮設材は別途計上する。

4. 施工図

2 P N C T ケーブル断面図（600V）



2 P N C T [2 種エチレンプロピレンゴム絶縁クロロブレンキャブタイヤケーブル]

5. 単価表

低圧ケーブル（3心）設置・撤去 100m当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ケ ー ブ ル	600V 2PNCT	m		表 3. 1
電 工		人		〃
雑 品		式	1	〃
計				

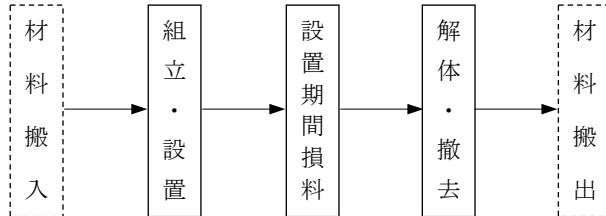
4-3-3 低圧ケーブル2心（地上施設）

1. 適用範囲

工事用配電設備の単相の設置又は撤去に適用する。
単相機械の配線に使用する。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 施工歩掛

表 3. 1 低圧ケーブル（2心）設置歩掛

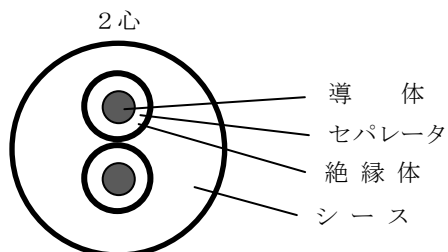
（100m当り）

名 称		単位	ケ ー ブ ル 規 格 mm ² (適用仕上り外径)									摘要
			2.0 (20mm以下)	3.5 (20mm以下)	5.5 (20mm以下)	8.0 (20mm以下)	14 (20mm以下)	22 (40mm以下)	38 (40mm以下)	60 (40mm以下)	100 (50mm以下)	
労務	電 工	人	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30	6.20	6.20	6.20	10.00	
材料	600V ケーブル (2PNCT)	m	100									損料
	雑 品	%	0.5									

- （注） 1. ケーブルは、トラフや電線管は使用せずケーブルのみの地上設置である。
 2. 材料の損料率は供用日当り 0.0639%とする。
 3. 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び材料の購入価格の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
 4. 撤去歩掛は「設置労務」の 50%を計上する。（小数点以下第 3 位四捨五入 2 位止）
 5. 労務歩掛には端末処理を含む。
 6. ケーブルを支持する仮設材は別途計上する。

4. 施工図

2 P N C T ケーブル断面図（600V）



2 P N C T [2 種エチレンプロピレンゴム絶縁クロロプレンキャブタイヤケーブル]

5. 単価表

低圧ケーブル（２心）設置・撤去 100m当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ケ ー ブ ル	600V 2PNCT	m		表 3. 1
電 工		人		〃
雑 品		式	1	〃
計				

4-4-1 端末処理（高圧ケーブル3心）

1. 適用範囲

高圧ケーブルの端末処理に適用する。

2. 施工歩掛

表 2. 1 端末処理歩掛

(1箇所当り)

名 称		単位	8 mm ² 以下	14 mm ² 以下	22 mm ² 以下	38 mm ² 以下	60 mm ² 以下	100 mm ² 以下	150 mm ² 以下	200 mm ² 以下	250 mm ² 以下	325 mm ² 以下	摘要
労務	電 工 人	人	0.50	0.60	0.70	0.90	1.20	1.30	1.40	1.50	1.60	1.70	
材料	端 末 処 理 材	組	1										全損
	雑 品	%	0.5										

- (注) 1. 端末処理材は、全損とする。
 2. 撤去歩掛は、ケーブル撤去に含む。
 3. 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
 4. 本歩掛は3心の場合であり、単心の場合は0.6倍、2心の場合は0.8倍とする。

3. 単価表

端末処理 1箇所当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
端 末 処 理 材		組		表 2. 1
電 工		人		〃
雑 品		式	1	〃
計				

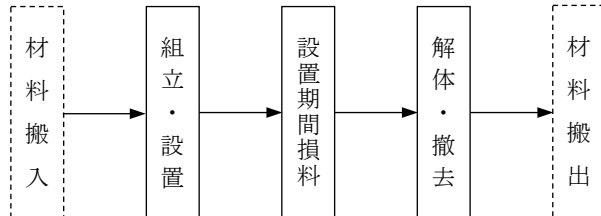
5-1 柱上変電設備 1台乗单相・高圧配電線路有り

1. 適用範囲

高圧架空電線路の中間支持物（柱）に1台乗の変台と单相変圧器を設置又は撤去する場合に適用する。
本歩掛は、高圧受電で変台設備から変圧器設置及び接地設置までとする。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 労務歩掛

表 3. 1 柱上変電設備設置歩掛

（1箇所当り）

工 種	規 格	単 位	電 工	普通作業員	摘 要
変台設備設置	1台乗单相用	人	1.00	1.00	
変 圧 器 設 置	单相 kVA	〃			表 3. 2
接 地 設 置	A 種	〃	1.00	2.00	
	B 種	〃	1.00	2.00	
計			3.00	5.00	

- （注） 1. 変圧器設置は、「表 3. 2」の区分から選定する。
 2. 接地のA種は変圧器外箱用、B種は変圧器二次側中性点用である。
 3. 撤去歩掛は「設置歩掛」の50%を計上する。（小数点以下第3位四捨五入2位止）

表 3. 2 変圧器設置歩掛

（1台当り）

工 種	規 格	単 位	電 工	普通作業員	摘 要
変圧器設置	5 kVA 以下	人	0.45	0.70	
	10 kVA 以下	〃	0.65	1.10	
	20 kVA 以下	〃	1.10	1.90	
	30 kVA 以下	〃	1.30	2.20	
	50 kVA 以下	〃	1.80	2.90	
	75 kVA 以下	〃	2.20	3.60	
	100 kVA 以下	〃	2.60	4.30	

（注） 撤去歩掛は「設置歩掛」の50%を計上する。（小数点以下第3位四捨五入2位止）

4. 使用材料

表 4. 1 使用材料

(1 箇所当り)

名 称	形状・規格	単位	数量	摘 要
軽 腕 金	3.2×75×75×1,500 mm	本	1	損料①
	3.2×75×75×1,800 mm	〃	3	〃
高 圧 引 下 線	PDC 14 mm ²	m	8	〃
高 圧 カ ッ ト ア ウ ト	7.2kV 30A PC-6	個	2	〃
高 圧 ピ ン 碍 子	普通形 大	〃	6	〃
ボ ル ト	真棒 M12×200 mm	〃	2	〃
ア ー ム タ イ ト	丸型 2.3×25×945	本	3	〃
自 在 ア ー ム バ ン ド	UABD-317	個	1	〃
自 在 バ ン ド	4BD-HC-12	〃	4	〃
接 地 極	900×900×1.5 mm	枚	2	全 損
接 地 線	IV 14 mm ²	m	15	〃
	IV 38 mm ²	〃	15	〃
硬 質 ビ ニ ル 電 線 管	VE φ16	〃	3	〃
	VE φ22	〃	3	〃
変 圧 器	単相 kVA	台	1	損料②
雑 品		%	0.5	

(注) 1. 接地工の床掘、埋戻及び接地抵抗の測定を含む。

2. 「損料①」の材料の損料率は供用日当り 0.0639%とする。

3. 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び「損料②」の材料を除く材料の購入価格の合計額に、上表の率を乗じた金額を計上する。

5. 単価表

(1) 柱上変電設備設置・撤去 1 箇所当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽 腕 金	1,500mm	本		表 4. 1
	1,800mm	〃		〃
高 圧 引 下 線	PDC 14 mm ²	m		〃
高 圧 カ ッ ト ア ウ ト	7.2kV 30A PC-6	個		〃
高 圧 ピ ン 碍 子	普通形 大	〃		〃
ボ ル ト	真棒 M12×200mm	〃		〃
ア ー ム タ イ ト	丸型 2.3×25×945	本		〃
自 在 ア ー ム バ ン ド	UABD-317	個		〃
自 在 バ ン ド	4BD-HC-12	〃		〃
接 地 極	900×900×1.5mm	枚		〃
接 地 線	IV 14 mm ²	m		〃
	IV 38 mm ²	〃		〃
硬 質 ビ ニ ル 電 線 管	VE φ16	〃		〃
	VE φ22	〃		〃
電 工		人		表 3. 1
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 品		式	1	表 4. 1
計				

(2) 変圧器設置・撤去 1 箇所当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
変 圧 器	単相	供用日		表 4. 1
電 工		人		表 3. 2
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 品		式	1	表 4. 1
計				

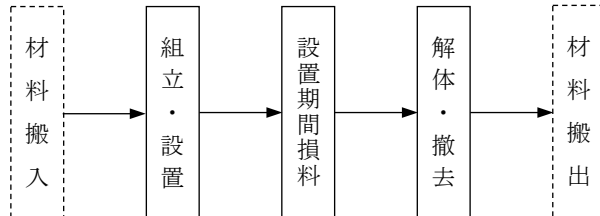
5-2 柱上変電設備 1台乗三相・高圧配電線路有り

1. 適用範囲

高圧架空電線路の中間支持物（柱）に1台乗の変台及び三相変圧器を設置又は撤去する場合に適用する。
本歩掛は、高圧受電で変台設備から変圧器設置及び接地設置までとする。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 労務歩掛

表 3. 1 柱上変電設備設置歩掛

(1箇所当り)

工 種	規 格	単 位	電 工	普通作業員	摘 要
変台設備設置	1台乗三相用	人	1.00	1.00	
変圧器設置	三相 kVA	〃			表 3. 2
接 地 設 置	A 種	〃	1.00	2.00	
	B 種	〃	1.00	2.00	
計		〃	3.00	5.00	

- （注） 1. 変圧器設置は、「表 3. 2」の区分から選定する。
 2. 接地の A 種は変圧器外箱用、B 種は変圧器二次側中性点用である。
 3. 撤去歩掛は「設置歩掛」の 50%を計上する。（小数点以下第 3 位四捨五入 2 位止）

表 3. 2 変圧器設置歩掛

(1台当り)

工 種	規 格		単 位	電 工	普通作業員	摘 要
変 圧 器 設 置	三相	5 kVA 以下	人	0.55	0.90	
		10 kVA 以下	〃	0.85	1.35	
		20 kVA 以下	〃	1.35	2.35	
		30 kVA 以下	〃	1.65	2.70	
		50 kVA 以下	〃	2.20	3.60	
		75 kVA 以下	〃	2.70	4.50	
		100 kVA 以下	〃	3.25	5.40	

（注） 撤去歩掛は「設置歩掛」の 50%を計上する。（小数点以下第 3 位四捨五入 2 位止）

４．使用材料

表 4. 1 使用材料

(1 箇所当り)

名 称	形状・規格	単位	数量	摘 要
軽 腕 金	3.2×75×75×1,500 mm	本	1	損料①
	3.2×75×75×1,800 mm	〃	3	〃
高 圧 引 下 線	PDC 14 mm ²	m	12	〃
高 圧 カ ッ ト ア ウ ト	7.2kV 30A PC-6	個	3	〃
高 圧 ピ ン 碍 子	普通形 大	〃	9	〃
ボ ル ト	真棒 M12×200 mm	〃	2	〃
ア ー ム タ イ ト	丸型 2.3×25×945	本	3	〃
自 在 ア ー ム バ ン ド	UABD-317	個	1	〃
自 在 バ ン ド	4BD-HC-12	〃	4	〃
接 地 極	900×900×1.5 mm	枚	2	全 損
接 地 線	IV 14 mm ²	m	15	〃
	IV 38 mm ²	〃	15	〃
硬 質 ビ ニ ル 電 線 管	VE φ16	〃	3	〃
	VE φ22	〃	3	〃
変 圧 器	三相 kVA	台	1	損料②
雑 品		%	0.5	

- (注) １． 接地工の床掘、埋戻及び接地抵抗の測定を含む。
 ２． 「損料①」の材料の損料率は供用日当り 0.0639%とする。
 ３． 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び「損料②」の材料を除く材料の購入価格の合計額に、上表の率を乗じた金額を対して計上する。

５．単価表

(1) 柱上変電設備設置・撤去 1 箇所当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽 腕 金	1,500mm	本		表 4. 1
	1,800mm	〃		〃
高 圧 引 下 線	PDC 14 mm ²	m		〃
高 圧 カ ッ ト ア ウ ト	7.2kV 30A PC-6	個		〃
高 圧 ピ ン 碍 子	普通形 大	〃		〃
ボ ル ト	真棒 M12×200mm	〃		〃
ア ー ム タ イ ト	丸型 2.3×25×945	本		〃
自 在 ア ー ム バ ン ド	UABD-317	個		〃
自 在 バ ン ド	4BD-HC-12	〃		〃
接 地 極	900×900×1.5mm	枚		〃
接 地 線	IV 14 mm ²	m		〃
	IV 38 mm ²	〃		〃
硬 質 ビ ニ ル 電 線 管	VE φ16	〃		〃
	VE φ22	〃		〃
電 工		人		表 3. 1
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 品		式	1	表 4. 1
計				

(2) 変圧器設置・撤去工 1 箇所当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
変 圧 器	三相	供用日		表 4. 1
電 工		人		表 3. 2
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 品		式	1	表 4. 1
計				

5-3 柱上変電設備 2台乗・高圧配電線路有り

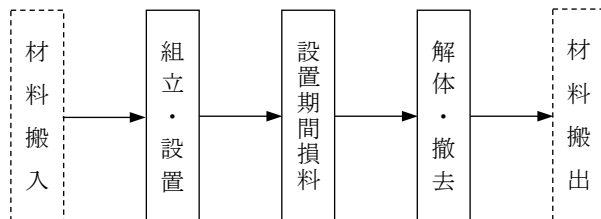
1. 適用範囲

高圧架空電線路の中間支持物（柱）に2台乗の変台及び単相・三相変圧器を設置又は撤去する場合に適用する。

本歩掛は、高圧受電で変台設備から変圧器設置及び接地設置までとする。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 労務歩掛

表 3. 1 柱上変電設備設置歩掛

（1箇所当り）

工 種	規 格	単位	電 工	普通作業員	摘 要
変台設備設置	2台乗	人	1.00	1.00	
変 圧 器 設 置	kVA	〃			表 3. 2
	kVA	〃			〃
接 地 設 置	A種	〃	1.00	2.00	
	B種	〃	1.00	2.00	
計		〃	3.00	5.00	

- （注） 1. 変圧器設置は、「表 3. 2」の区分から選定する。
 2. 接地のA種は変圧器外箱用、B種は変圧器二次側中性点用である。
 3. 撤去歩掛は「設置歩掛」の50%を計上する。（小数点以下第3位四捨五入2位止）

表 3. 2 変圧器設置歩掛

（1台当り）

工 種	規 格		単位	電 工	普通作業員	摘 要
変 圧 器 設 置	単相	5 kVA 以下	人	0.45	0.70	
		10 kVA 以下	〃	0.65	1.10	
		20 kVA 以下	〃	1.10	1.90	
		30 kVA 以下	〃	1.30	2.20	
		50 kVA 以下	〃	1.80	2.90	
		75 kVA 以下	〃	2.20	3.60	
	三相	5 kVA 以下	〃	0.55	0.90	
		10 kVA 以下	〃	0.85	1.35	
		20 kVA 以下	〃	1.35	2.35	
		30 kVA 以下	〃	1.65	2.70	
		50 kVA 以下	〃	2.20	3.60	
		75 kVA 以下	〃	2.70	4.50	

（注） 撤去歩掛は「設置歩掛」の50%を計上する。（小数点以下第3位四捨五入2位止）

4. 使用材料

表 4. 1 使用材料

(1 箇所当たり)

名 称	形状・規格	単位	単相 2 台	単相 1 台 三相 1 台	三相 2 台	摘 要
軽 腕 金	3.2×75×75×1,500 mm	本	3			損料①
	3.2×75×75×1,800 mm	〃	3			〃
高 圧 引 下 線	PDC 14 mm ²	m	13		15	〃
高 圧 カ ッ ト ア ウ ト	7.2kV 30A PC-6	個	4	5	6	〃
高 圧 ピ ン 碍 子	普通形 大	〃	10	11	12	〃
ボ ル ト	真棒 M12×200 mm	〃	6			〃
ア ー ム タ イ	丸型 2.3×25×945	本	5			〃
自 在 ア ー ム バ ン ド	UABD-317	個	1			〃
自 在 バ ン ド	4BD-HC-12	〃	5			〃
接 地 極	900×900×1.5 mm	枚	2			全 損
接 地 線	IV 14 mm ²	m	15			〃
	IV 38 mm ²	〃	15			〃
硬 質 ビ ニ ル 電 線 管	VE φ16	〃	3			〃
	VE φ22	〃	3			〃
変 圧 器	単相 kVA	台	2	1		損料②
	三相 kVA	〃		1	2	〃
雑 品		%	0.5			

(注) 1. 接地工の床掘、埋戻及び接地抵抗の測定を含む。

2. 「損料①」の材料の損料率は供用日当り 0.0639%とする。

3. 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び「損料②」の材料を除く材料の購入金額の合計額に、上表の率を乗じた金額を計上する。

5. 単価表

(1) 柱上変電設備設置・撤去 1 箇所当たり単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽 腕 金	1,500mm	本		表 4. 1
	1,800mm	〃		〃
高 圧 引 下 線	PDC 14 mm ²	m		〃
高 圧 カ ッ ト ア ウ ト	7.2kV 30A PC-6	個		〃
高 圧 ピ ン 碍 子	普通形 大	〃		〃
ボ ル ト	真棒 M12×200mm	〃		〃
ア ー ム タ イ	丸型 2.3×25×945	本		〃
自 在 ア ー ム バ ン ド	UABD-317	個		〃
自 在 バ ン ド	4BD-HC-12	〃		〃
接 地 極	900×900×1.5mm	枚		〃
接 地 線	IV 14 mm ²	m		〃
	IV 38 mm ²	〃		〃
硬 質 ビ ニ ル 電 線 管	VE φ16	〃		〃
	VE φ22	〃		〃
電 工		人		表 3. 1
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 品		式	1	表 4. 1
計				

(2) 変圧器設置・撤去 1箇所当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
変 圧 器	単相・三相	供用日		表 4. 1
電 工		人		表 3. 2
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 品		式	1	表 4. 1
計				

5-4 柱上変電設備 H変台・高圧配電線路有り

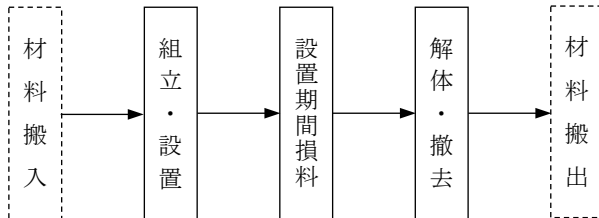
1. 適用範囲

高圧架空電線路の中間支持物（柱）に3台乗の変台及び単相・三相変圧器を設置又は撤去する場合に適用する。

本歩掛は、高圧受電で変台設備から変圧器設置及び接地設置までとする。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 労務歩掛

表 3. 1 柱上変電設備設置歩掛

(1箇所当り)

工 種	規 格	単位	電 工	普通作業員	摘 要
建 柱 工	コンクリート柱 8 m	人	1.20	2.00	
変台設備設置	H変台	〃	1.00	1.00	
変 圧 器 設 置	kVA	〃			表 3. 2
	kVA	〃			〃
	kVA	〃			〃
接 地 設 置	A 種	〃	1.00	2.00	
	B 種	〃	1.00	2.00	
計		〃	4.20	7.00	

- （注） 1. 変圧器設置は、「表 3. 2」の区分から選定する。
 2. 接地の A 種は変圧器外箱用、B 種は変圧器二次側中性点用である。
 3. 撤去歩掛は「設置歩掛」の 50%を計上する。（小数点以下第 3 位四捨五入 2 位止）

表 3. 2 変圧器設置歩掛

(1台当り)

工 種	規 格		単位	電 工	普通作業員	摘 要
変圧器設置	単相	5 kVA 以下	人	0.45	0.70	
		10 kVA 以下	〃	0.65	1.10	
		20 kVA 以下	〃	1.10	1.90	
		30 kVA 以下	〃	1.30	2.20	
		50 kVA 以下	〃	1.80	2.90	
	三相	5 kVA 以下	〃	0.55	0.90	
		10 kVA 以下	〃	0.85	1.35	
		20 kVA 以下	〃	1.35	2.35	
		30 kVA 以下	〃	1.65	2.70	
		50 kVA 以下	〃	2.20	3.60	

（注） 撤去歩掛は「設置歩掛」の 50%を計上する。（小数点以下第 3 位四捨五入 2 位止）

4. 使用材料

表 4. 1 使用材料

(1箇所当り)

名 称	形状・規格	単位	単相 3 台	単相 2 台 三相 1 台	単相 1 台 三相 2 台	三相 3 台	摘 要
電 柱	コンクリート柱 8 m	本	1				損料①
コンクリート根枷	A 形 (バンド付)	個	1				〃
軽 腕 金	3.2×75×75×2,500 mm	本	7				〃
	3.2×75×75×1,800 mm	〃	2				〃
	3.2×75×75×1,500 mm	〃	1				〃
高 圧 引 下 線	PDC 14 mm ²	m	18	21	24	27	〃
H 柱変台高圧母線	OC 38 mm ²	〃	9				〃
高圧カットアウト	7.2kV 30A PC-6	個	6	7	8	9	〃
高 圧 ピ ン 碍 子	普通形 大	〃	15	17	19	21	〃
ボ ル ト	真棒 M12×200 mm	〃	8				〃
ア ー ム タ イ	丸型 2.3×25×945	本	8				〃
自在アームバンド	UABD-317	個	2				〃
自 在 バ ン ド	4BD-HC-12	〃	12				〃
接 地 極	900×900×1.5 mm	枚	2				全 損
接 地 線	IV 14 mm ²	m	15				〃
	IV 38 mm ²	〃	15				〃
硬質ビニル電線管	VE φ16	〃	3				〃
	VE φ22	〃	3				〃
変 圧 器	単相 kVA	台	3	2	1		損料②
	三相 kVA	〃		1	2	3	〃
雑 品		%	0.5				

(注) 1. 接地工の床掘、埋戻及び接地抵抗の測定を含む。

2. 「損料①」の材料の損料率は供用日当り 0.0639%とする。

3. 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び「損料②」の材料を除く材料の購入価格の合計額に、上表の率を乗じた金額を計上する。

5. 単価表

(1) 柱上変電設備設置・撤去 1箇所当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
電 柱	コンクリート柱 8 m	本		表 4. 1
コンクリート根枷	A形 (バンド付)	個		〃
軽 腕 金	2,500mm	本		〃
	1,800mm	〃		〃
	1,500mm	〃		〃
高 圧 引 下 線	PDC 14 mm ²	m		〃
H 柱 変 台 高 圧 母 線	OC 38 mm ²	〃		〃
高 圧 カ ッ ト ア ウ ト	7.2kV 30A PC-6	個		〃
高 圧 ピ ン 磚 子	普通形 大	〃		〃
ボ ル ト	真棒 M12×200mm	〃		〃
ア ー ム タ イ ト	丸型 2.3×25×945	本		〃
自 在 ア ー ム バ ン ド	UABD-317	個		〃
自 在 バ ン ド	4BD-HC-12	〃		〃
接 地 極	900×900×1.5mm	枚		〃
接 地 線	IV 14 mm ²	m		〃
	IV 38 mm ²	〃		〃
硬 質 ビ ニ ル 電 線 管	VE φ16	〃		〃
	VE φ22	〃		〃
電 工		人		表 3. 1
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 品		式	1	表 4. 1
計				

(2) 変圧器設置・撤去 1箇所当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
変 圧 器	単相・三相	供用日		表 4. 1
電 工		人		表 3. 2
普 通 作 業 員		〃		〃
雑 品		式	1	表 4. 1
計				

6-2-1 分電盤設備（3線式）

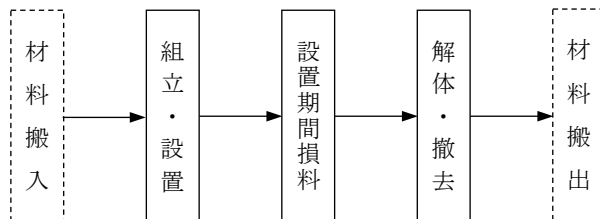
1. 適用範囲

工事用分電盤の設置又は撤去に適用する。

単相3線式及び三相3線式は、低圧動力用で負荷容量に応じてモーター及び低圧機器1台に対して分電盤を1台計上する。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 施工歩掛

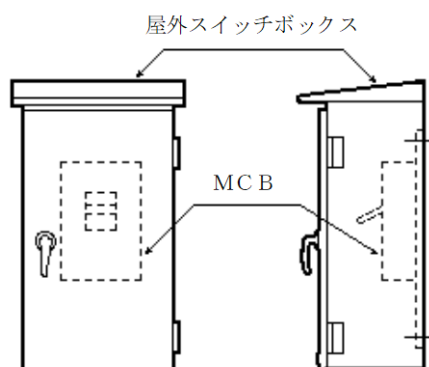
表 3. 1 分電盤設備（3線式）設置歩掛

（1箇所当り）

名 称		単 位	負 荷 容 量 kW ま で							摘 要
		单相 3 線式	3	6	12	20	40	60	80	
		三相 3 線式	1. 5	3. 7	7. 5	15	37	60	80	
労 務	電 工	人	0. 79	0. 79	1. 13	1. 40	2. 47	3. 48	3. 60	
材 料	配線用 しゃ断機	規 格	(30 A) 3P30A	(30 A) 3P30A	(60 A) 3P60A	(100 A) 3P100A	(225 A) 3P200A	(400 A) 3P300A	(400 A) 3P400A	損料
	屋外スイッチ ボックス	個	1. 00							〃
	電線 IV	規 格	1. 6 mm	2. 0 mm	8 mm ²	22 mm ²	60 mm ²	150 mm ²	200 mm ²	〃
	電線管 VE	〃	16mm	16mm	22mm	36mm	42mm	70mm	82mm	〃
	雑 品	%	0. 5							

- （注） 1. 配線用しゃ断機の（ ）はフレームを示す。
 2. 電線は1箇所15mを標準とする。
 3. 電線管は1本4mとする。
 4. 屋外スイッチボックスの接地D種設置は別途計上する。
 5. 2次側配線損料は、ケーブル又は架線により別途計上する。
 6. 材料の損料率は供用日当り0.0639%とする。
 7. 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び全ての材料の購入価格の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
 8. 撤去歩掛は「設置労務」の50%を計上する。（小数点以下第3位四捨五入2位止）

4. 施工図



5. 単価表

分電盤設備（３線式）設置・撤去 1箇所当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
配 線 用 し ゃ 断 機		個		表 3. 1
屋外スイッチボックス		〃		〃
電 線	I V 線	m		〃
電 線 管	V E 管	本		〃
電 工		人		〃
雑 品		式	1	〃
計				

6-2-2 分電盤設備（2線式）

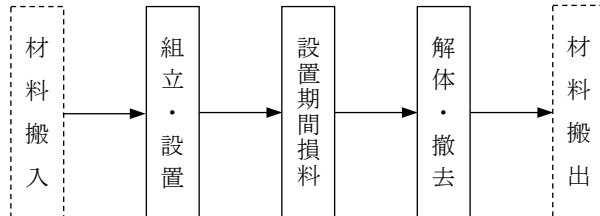
1. 適用範囲

工事用分電盤の設置又は撤去に適用する。

単相2線式は、単相低圧で負荷容量に応じて分電盤容量を決定する。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 施工歩掛

表 3. 1 分電盤設備（2線式）設置歩掛

（1箇所当り）

名 称		単 位	負 荷 容 量 kW ま で							摘 要
			1.5	3	6	10	20	30	40	
労務	電 工	人	0.60	0.60	0.83	1.10	1.89	2.61	2.73	
材 料	配線用 しゃ断機	規 格	(30A) 2P30A	(30A) 2P30A	(60A) 2P60A	(100A) 2P100A	(225A) 2P200A	(400A) 2P300A	(400A) 2P400A	損 料
	屋外スイッチ ボックス	個	1.00							〃
	電線 IV	規 格	1.6 mm	2.0 mm	8 mm ²	22 mm ²	60 mm ²	150 mm ²	200 mm ²	〃
	電線管 VE	〃	16	16	22	36	42	70	82	〃
	雑 品	%	0.5							

- （注）1. 配線用しゃ断機の（ ）はフレームを示す。
 2. 電線は1箇所10mを標準とする。
 3. 電線管は1本4mとする。
 4. 屋外スイッチボックスの接地D種設置は別途計上する。
 5. 2次側配線損料は、ケーブル又は架線により別途計上する。
 6. 材料の損料率は供用日当り0.0639%とする。
 7. 雑品は、端子、ビニールテープ、導線、半田等であり、設置労務費及び全ての材料の購入価格の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
 8. 撤去歩掛は「設置労務」の50%を計上する。（小数点以下第3位四捨五入2位止）

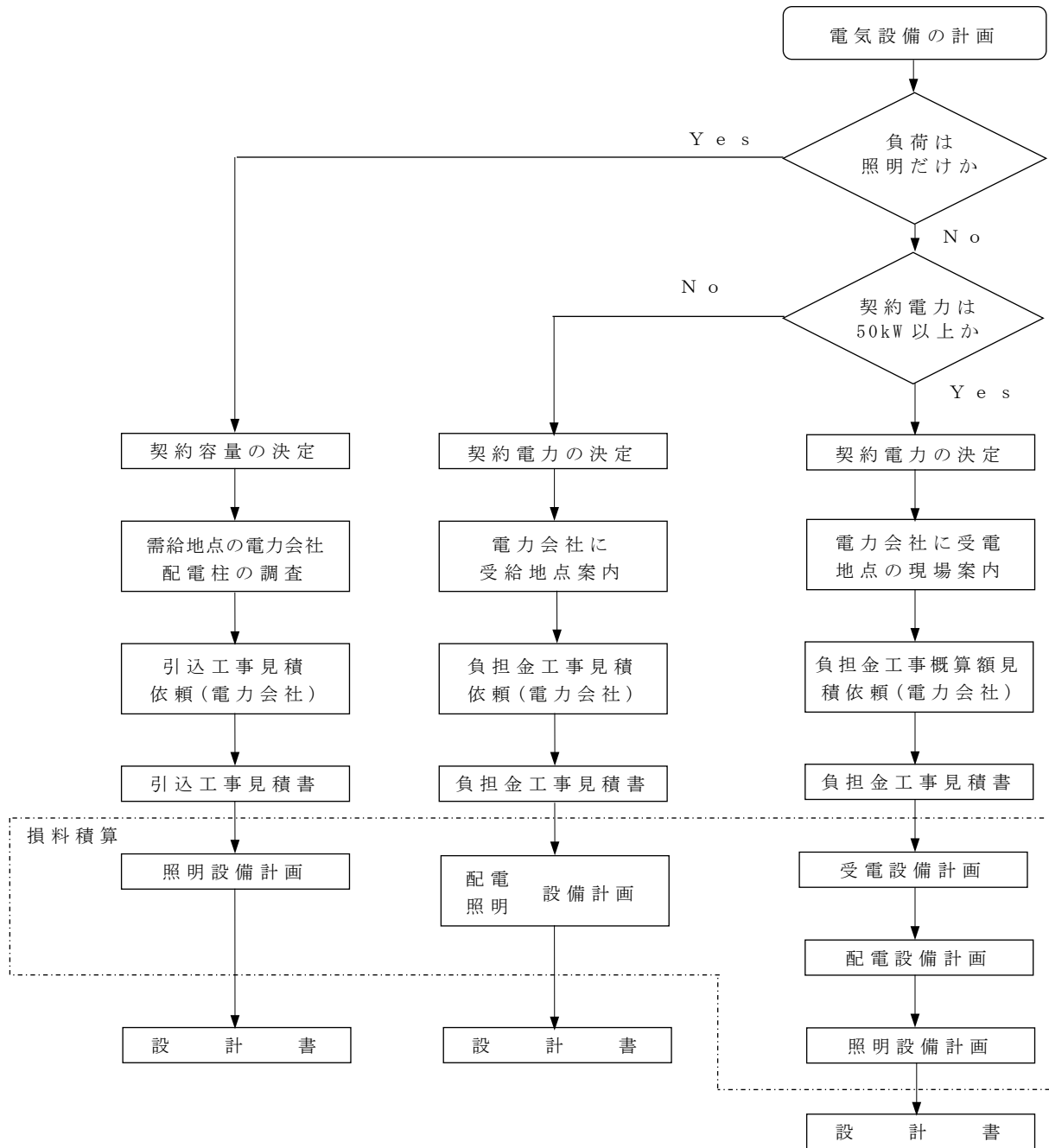
4. 単価表

分電盤設備（2線式）設置・撤去1箇所当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
配線用しゃ断機		個		表 3. 1
屋外スイッチボックス		〃		〃
電 線	I V線	m		〃
電 線 管	V E管	本		〃
電 工		人		〃
雑 品		式	1	〃
計				

8. 電気設備計画フロー

図 8. 1 電気設備計画フロー



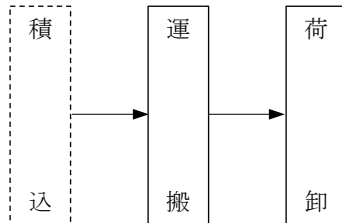
⑤ 運搬(伐開、除根、除草)

1. 適用範囲

本歩掛は、伐開、除根、除草等に伴い発生する刈払材、樹根を、ダンプトラック 10t 積級により運搬する作業に適用する。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 施工歩掛

施工歩掛は、次表を標準とする。

表 3. 1 100 空 m^3 当り運搬日数

DID 区間：無し			
運搬距離 (km)	運搬日数 (日/100 空 m^3)	運搬距離 (km)	運搬日数 (日/100 空 m^3)
1.0 以下	0.8	9.0 以下	1.7
1.5 以下	0.9	13.5 以下	2.1
3.0 以下	1.0	21.0 以下	2.8
4.5 以下	1.2	36.5 以下	4.1
6.5 以下	1.4	50.0 以下	8.3

- (注) 1. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。
 2. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。
 3. DID(人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
 4. 運搬距離が 50.0km を超える場合は、別途考慮する。
 5. DID 区間：無しとは、DID 区間が存在する経路を昼間運搬する場合以外に運搬する場合をいう。
 6. 刈払材、樹根の対象積載量(空 m^3)は、ダンプトラック積載時の体積とする。
 7. 刈払材、樹根の処分費は、別途計上する。

4. 単価表

(1) ダンプトラック運搬 100 空 m^3 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ダンプトラック運転	10t 積級	日	D	表 3. 1
計				

(注) D : 日当り施工量

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
ダンプトラック	10t 積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→60 機械損料数量→1.30

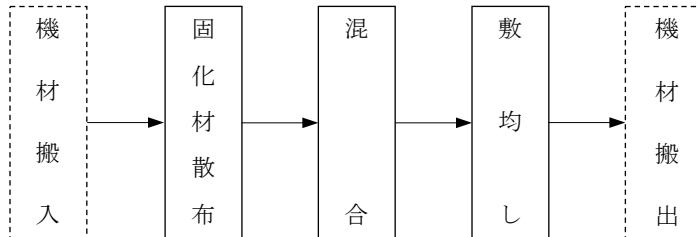
⑥ 地盤改良工(仮設道路基礎)

1. 適用範囲

本歩掛は、仮設道路の基礎地盤をバックホウにより地盤改良する場合に適用する。
なお、改良深度は0.5m～1.5mとし、固化材はセメント系とする。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



- (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
2. 固化材の小運搬を必要とする場合には、別途計上する。

3. 機種の選定

施工機械は、次表を標準とする。

表 3. 1 機種の選定

機 械 名	規 格
バックホウ（クレーン機能付）	低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）・クローラ型 山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ）2.9 t 吊

- (注) 1. バックホウ（クレーン機能付）は、賃料とする。
2. バックホウ（クレーン機能付）は、クレーン等安全規則、移動式クレーン構造規格に準拠した機械である。

4. 施工歩掛

4-1 日当り施工量

日当り施工量は、次表を標準とする。

表 4. 1 日当り施工量 (1日当り)

作 業	単 位	数 量
固化材散布、混合、敷均し	m ²	90

4-2 配置人員

配置人員は、次表を標準とする。

表 4. 2 配置人員 (100m²当り)

名 称	単 位	数 量
世話役	人	0.4
普通作業員	〃	0.7

5. 単価表

(1) 地盤改良工(仮設道路基礎)100m²当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	0.4	表 4. 2
普 通 作 業 員		〃	0.7	表 4. 2
固 化 材	セメント系	t		
バ ッ ク ホ ウ (クレーン機能付)運転	低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9 t 吊	日	100/D	表 4. 1
計				

(注) 1. D: 日当り施工量

2. 使用する固化材の数量は、改良目標強度等により必要な混入量を計上する。

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
バ ッ ク ホ ウ (クレーン機能付)	低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9 t 吊	機-28	運転労務数量 →1.00 燃 料 消 費 量 →83 機械賃料数量 →1.42

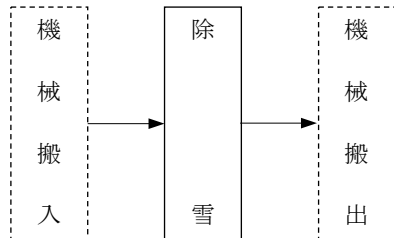
⑦ 現場内除雪工

1. 適用範囲

本歩掛は、工事現場内の除雪に適用する。なお、対象除雪深は10cm以上とする。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 機種の選定

使用機械の機械・規格は次表を標準とする。

表 3. 1 機種の選定

作業対象範囲	機械名	規格
土工部	バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型 (第3次基準値)
仮設ヤード		クローラ型 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 2.9 t 吊
工事用道路	ホイールローダ (トラクタショベル)	排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 1.3～1.4m ³

(注) バックホウ、ホイールローダは、賃料とする。なお、ロングアームバックホウ及び超ロングアームバックホウによる除雪には適用できない。

4. 施工歩掛

4-1 構造物周辺除雪

機械除雪ができない構造物周辺の人力による除雪に適用する。

構造物周辺除雪工歩掛は次表を標準とする。

表 4. 1. 1 構造物周辺除雪歩掛 (100m³当り)

作業範囲	普通作業員 (人)
構造物周辺	2.35

4-2 土工部・仮設ヤード・工事用道路除雪

施工歩掛は次表を標準とする。

表 4. 2. 1 土工部・仮設ヤード・工事用道路除雪歩掛

作業範囲	1日当り施工量 (m ³ /日)
土工部	325
仮設ヤード	569
工事用道路	535

5. 単価表

(1) 構造物周辺除雪 100m³当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人		表 4. 1. 1
計				

(2) 土工部除雪 100m³ 当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
バックホウ賃料 (クレーン機能付)	排出ガス対策型(第3次基準値)クローラ型 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 2.9 t 吊	日	100/D	表 4. 2. 1
計				

(注) D: 日当り施工量

(3) 仮設ヤード除雪 100m³ 当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
バックホウ賃料 (クレーン機能付)	排出ガス対策型(第3次基準値)クローラ型 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 2.9 t 吊	日	100/D	表 4. 2. 1
計				

(注) D: 日当り施工量

(4) 工事用道路除雪 100m³ 当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
ホイールローダ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 1.3~1.4m ³	日	100/D	表 4. 2. 1
計				

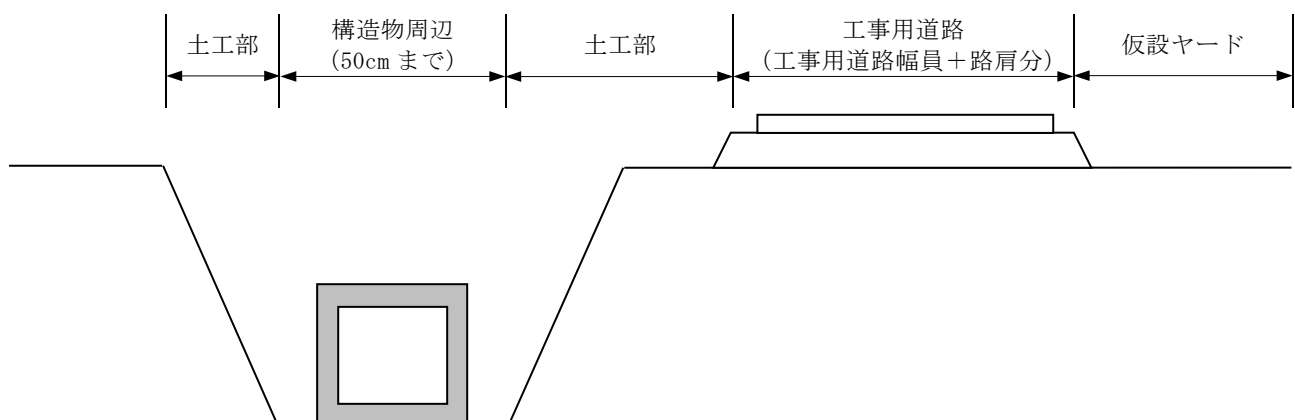
(注) D: 日当り施工量

(5) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型(第3次基準値)クローラ型 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 2.9 t 吊	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →92 機械賃料数量 →1.60
ホイールローダ (トラクタショベル)	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 1.3~1.4m ³	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →23 機械賃料数量 →2.20

6. 参考図

除雪作業対象範囲概念図



- (注) 1. 構造物周辺除雪範囲は、「構造物及び資機材の周辺 50cm まで」とする。
2. 工事用道路除雪範囲は、「工事用道路幅員+路肩分」とする。

